

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
北村まり、谷口未樹、渡部尚子、古本洋平、鎮西亮子、浅野 徹、佐崎なほ子、忠願寺義通、藤木和彦、堀内亮郎、真榮城剛、三田村圭太郎、鈴木伸治、渡辺 守	クリッピングで止血困難であり、食道拡張用バルーンにて圧迫止血に成功したマロリーワイス症候群の一例	第86回 日本消化器内視鏡学会 関東地方会	東京	2008年6月23日
渡辺 守	生物学的製剤が炎症性腸疾患治療に与えたインパクト	第10回IBD治療研究会	名古屋	2008年6月13日
戸塚輝治	慢性大腸炎の発症と維持におけるIL-7の役割	第32回 日本リンパ学会総会	東京	2008年6月6日
鈴木雅博、陳 正新、鈴木伸治、植山真由美、玄 世鋒、小野塚泉、井津井康浩、岡田英理子、岡本隆一、中川美奈、戸塚輝治、土屋輝一郎、永石宇司、中村哲也、長堀正和、荒木昭博、坂本直哉、金井隆典、渡辺 守	急性肝炎重症型を伴ったdrug-induced hypersensitivity syndrome の1例	第299回 日本消化器病学会 関東支部例会	前橋	2008年5月17日
三好理絵、池邊佐和子、加納嘉人、鎌田和明、伊藤祐子、大木史郎、相馬友子、草野史彦、酒井義法、田沢潤一、永山和宜、新田沙由梨、渡辺 守	5-FU/ロイコポリン併用療法により長期SDが得られたstage IV進行胃癌の1例	第299回 日本消化器病学会 関東支部例会	前橋	2008年5月17日
渡辺 守	炎症性腸疾患の病態を新しい側面から繙く	第27回東京女子医科大学消化器病臨床フォーラム	東京	2008年5月14日
土屋輝一郎、岩崎美智子、渡辺 守	小腸構造理解を目指した小腸マッピングによる遺伝子発現解析	第94回 日本消化器病学会	福岡	2008年5月10日
金井隆典、渡辺 守	腸炎惹起性免疫記憶リンパ球の恒常的循環を遮断する炎症性腸疾患治療ストラテジー	第94回 日本消化器病学会	福岡	2008年5月9日
富田貴之、金井隆典、藤井俊光、根本泰宏、戸塚輝治、渡辺 守	腸炎惹起性T細胞のMyD88を介した直接的TLRシグナルの重要性	第94回 日本消化器病学会	福岡	2008年5月9日
藤井俊光、金井隆典、富田貴之、亀山佳織、篠原玉子、根本泰宏、戸塚輝治、渡辺 守	免疫調整剤FTY720による腸炎惹起性リンパ球の骨髄封じ込め効果の検討	第94回 日本消化器病学会	福岡	2008年5月9日
戸塚輝治、金井隆典、根本泰宏、富田貴之、渡辺 守	腸炎惹起性メモリーCD4+ T細胞の加齢に伴う抑制性細胞へのコンバージョン	第94回 日本消化器病学会	福岡	2008年5月9日
富田貴之、金井隆典、藤井俊光、篠原玉子、亀山佳織、根本泰宏、戸塚輝治、渡辺 守	慢性腸炎発症・維持には腸管IL-7ではなく全身性IL-7が必須である	第94回 日本消化器病学会	福岡	2008年5月9日
岡本隆一、土屋輝一郎、渡辺 守	炎症性腸疾患におけるNotchシグナルを介した上皮再生機構	第94回 日本消化器病学会	福岡	2008年5月8日
根本泰宏、金井隆典、亀山佳織、篠原玉子、藤井俊光、富田貴之、岡本隆一、戸塚輝治、渡辺 守	腸管骨髄に存在する腸炎惹起性CD4+メモリー細胞による自然免疫系へのフィードバック機構	第94回 日本消化器病学会	福岡	2008年5月8日
渡辺 守	炎症性腸疾患の病態を新しい側面から繙く	日本消化器病学会東海支部 第107回例会・日本消化器病学会東海支部 第18回教育講演会	名古屋	2007年11月17日
渡辺 守	消化器医が知っておきたい下部消化管疾患の最先端一進歩する病態学・診断学・治療学ー炎症性疾患:IBD	JDDW 2007	神戸	2007年10月18-21日
渡辺 守	クローン病治療におけるInfliximab維持治療の重要性	JDDW 2007	神戸	2007年10月18-21日
土屋輝一郎、岡本隆一、渡辺 守	WatシグナルによるHath1蛋白分解機構を標的とした大腸癌新規治療法開発	JDDW 2007	神戸	2007年10月18-21日
渡辺 守	潰瘍性大腸炎の病態を内視鏡検体を用いて繙く	第25回 日本大腸検査学会総会	東京	2007年9月8-9日
永石宇司、Brozovic Suzana、吉田優、鬼澤道夫、金井隆典、渡辺 守、Blumberg Richard S	腸管上皮細胞におけるTLRを介したIL-7産生抑制機構の解析	第44回 日本消化器免疫学会総会	東京	2007年7月8日
永石宇司、Brozovic Suzana、吉田優、鬼澤道夫、金井隆典、渡辺 守、Blumberg Richard S	Microsomal triglyceride transfer proteinによるNKT細胞介在性肝炎および腸炎の制御	第44回 日本消化器免疫学会総会	東京	2007年7月8日
荒木昭博、土屋輝一郎、渡辺 守	ひとりのできるダブルバルーン内視鏡ーGrip and pinch techniqueによるOne man methodー	第73回 日本消化器内視鏡学会	東京	2007年5月10日
渡辺 守	Ulcerative colitis: A disorder of epithelial cell differentiation?	第93回 日本消化器病学会 (4th Joint Meeting of the Japanese Society of Gastroenterology and the American Gastroenterological Association)	青森	2007年4月21日
金井隆典、蒔田 新、渡辺 守	白血球除去療法の体外抗TNF-α療法としての位置付け	第93回 日本消化器病学会	青森	2007年4月21日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
久保田大輔, 金井隆典, 渡辺 守	クローン病再発に関する因子の検討	第93回 日本消化器病学会	青森	2007年4月21日
岡田英理子, 荒木昭博, 陳 正新, 土屋輝一郎, 渡辺 守	ESDにおける容易な剥離層確認のために	第93回 日本消化器病学会	青森	2007年4月20日
蒔田 新, 金井隆典, 根本泰宏, 戸塚輝治, 渡辺 守	慢性大腸炎発症・維持・制御における腸間膜リンパ節の非必須性	第93回 日本消化器病学会	青森	2007年4月20日
荒木昭博, 土屋輝一郎, 渡辺 守	原因不明の消化管出血に対するダブルルーメン内視鏡の有効性	第93回 日本消化器病学会	青森	2007年4月20日
鬼澤道夫, 金井隆典, 大島 茂, 根本泰宏, 蒔田 新, 岡本隆一, 戸塚輝治, 土屋輝一郎, 渡辺 守	炎症性腸疾患合併大腸癌動物モデルにおける抗TNF α 抗体維持療法の有用性	第93回 日本消化器病学会	青森	2007年4月19日
伊藤ゆみ, 金井隆典, 蒔田 新, 土屋輝一郎, 戸塚輝治, 八木田秀雄, 渡辺 守	慢性大腸炎治療におけるNKG2D阻害系の意義	第93回 日本消化器病学会	青森	2007年4月19日
富田貴之, 金井隆典, 藤井俊光, 篠原玉子, 蒔田 新, 根本泰宏, 戸塚輝治, 渡辺 守	慢性大腸炎維持における腸炎惹起性メモリーCD4+T細胞の再循環の意義	第93回 日本消化器病学会	青森	2007年4月19日
戸塚輝治, 金井隆典, 富田貴之, 篠原玉子, 藤井俊光, 鬼澤道夫, 根本泰宏, 伊藤ゆみ, 蒔田 新, 渡辺 守	慢性大腸炎の発症と維持におけるIL-7の役割	第93回 日本消化器病学会	青森	2007年4月19日
根本泰宏, 金井隆典, 渡辺 守	腸炎惹起性骨髄CD4+メモリーT細胞は骨髄自然免疫を攪乱する	第93回 日本消化器病学会	青森	2007年4月19日
Kanmura S, Sakiyama T, Morinaga Y, Sasaki F, Ibusuki K, Setoyama H, Funakawa K, Uto H, Ido A, Tsubouchi H	Human neutrophil peptides 1-3 induce IL-8 and VEGF in intestinal epithelial cells	The 4th Korea-Japan Inflammatory Bowel Disease Symposium	東京	2010年1月23日
Hashimoto S, Uto H, Kanmura S, Oku M, Tanoue S, Nasu Y, Sasaki F, Moriuchi A, Fujita H, Hasegawa S, Yamamoto T, Oketani M, Ido A, Tsubouchi H	Human neutrophil peptide-1 has cytotoxic effects on colon cancer cells and aggravates dextran sulfate sodium-induced colitis	Digestive Disease Week 2009	Chicago	2009年5月30日
Sakiyama T, Musch MW, Tsubouchi H, Chang EB	Polyamines mediate glutamine-dependent induction of the intestinal epithelial heat shock response	Digestive Disease Week 2009	Chicago	2009年5月30日
Sakiyama T, Musch MW, Ropeleski MJ, Tsubouchi H, Chang EB	Glutamine regulates autophagy in IEC-18 cells	Digestive Disease Week 2008	San Diego	2008年5月19日
Kanmura S, Uto H, Numata M, Kodama M, Nakanishi C, Abe H, Miike T, Kusumoto K, Hasuike S, Nagata K, Hayashi K, Ido A, Tsubouchi H	Identification of a candidate biomarker for inflammatory bowel disease using a SELDI ProteinChip system	Digestive Disease Week 2007	Washington DC	2007年5月19日
Sakiyama T, Fujita H, Tsubouchi H	Novel autoantibodies against ubiquitination factor E4A (UBE4A) are potential biomarkers for detection and prediction of clinical activity and outcome in patients with Crohn's disease	Digestive Disease Week 2007	Washington DC	2007年5月19日
上村修司, 宇都浩文, 佐々木文郷, 橋元慎一, 瀬戸山仁, 船川慶太, 崙山敏男, 井戸章雄, 坪内博仁	腸管上皮細胞のサイトカイン発現におけるHuman Neutrophil Peptide 1-3の作用	第46回日本消化器免疫学会総会	松山	2009年7月3日
橋元慎一, 宇都浩文, 上村修司, 佐々木文郷, 屋万栄, 田ノ上史郎, 森内昭博, 藤田 浩, 長谷川将, 山元隆文, 桶谷 真, 井戸章雄, 坪内博仁	潰瘍性大腸炎患者血清中に上昇するHuman Neutrophil Peptide (HNP)-1の病態への関与	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7日
橋元慎一, 上村修司, 宇都浩文, 沼田政嗣, 森内昭博, 藤田 浩, 長谷川将, 山元隆文, 桶谷 真, 井戸章雄, 坪内博仁	Human Neutrophil Peptide (HNP) 1-3の潰瘍性大腸炎に対する臨床的意義	第45回日本消化器免疫学会総会	京都	2008年7月3日
上村修司, 宇都浩文, 坪内博仁	プロテオーム解析から同定した血中Human Neutrophil Peptide (HNP) 1-3の消化管粘膜に及ぼす影響	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8日
上村修司, 宇都浩文, 佐々木文郷, 橋元慎一, 沼田政嗣, 安倍弘生, 森内昭博, 藤田 浩, 山元隆文, 桶谷 真, 井戸章雄, 坪内博仁	プロテオーム解析から同定したHuman Neutrophil Peptide (HNP) 1-3の潰瘍性大腸炎における臨床的意義	第15回浜名湖シンポジウム	浜松	2007年12月22日
Tanaka H, Arimura Y, Yabana T, Goto A, Hosakawa M, Nagaishi K, Naishiro Y, Yamashita K, Yamamoto H, Murata M, Fujimiya M, Imai K, Shinomura Y	Enhancing mucosal reparative response in rat DSS colitis by Mesenchymal Stem Cell therapy	The 4th Korea-Japan Inflammatory Bowel Disease Symposium	Tokyo	2010年1月23日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Kobayashi K, Qiao S-W, Kuo T, de Muinck E. J., Imai K, Shinomura Y, Yoshida M, Lencer W. I., Blumberg R. S.	Anti-flagellin specific IgG is pathogenic in colitis through FcRn-regulated antigen presentation pathways	Digestive Disease Week 2008	San Diego	2008年5月17-22日
安達正晃, 劉 耀華, 趙 世光, クー・アルバート, ランドー・トーマス, ルオ・ダン, 今井浩三, 篠村恭久.	XBPIの新しい機能: 酸化ストレス応答への関与	第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会合同大会	神戸	2008年12月9-12日
永石歆和, Quiao S-W, Kuo T, DeMuinck E, 吉田 優, 有村佳昭, 今井浩三, 篠村恭久, Lencer W, Blumberg R.	Flagellin特異的IgGの腸炎における役割—FcRnの抗原提示能への関与	第45回日本消化器免疫学会総会	京都	2008年7月3-4日
有村佳昭, 田中道寛, 篠村恭久, 今井浩三	IBD治療における疾患感受性遺伝子	札幌IBD Meeting	札幌	2008年2月8日
中垣卓, 有村佳昭, 田中浩紀, 細川雅代, 山下健太郎, 後藤啓, 山本博幸, 篠村恭久, 今井浩三	炎症と発癌における骨髄の役割	第4回日本消化管学会学術集会	大阪	2008年2月7-8日
田中道寛, 有村佳昭, 後藤 啓, 中垣卓, 田中浩紀, 細川雅代, 山下健太郎, 本谷 総, 野村 昌史, 篠村恭久, 今井浩三	炎症性腸疾患におけるSP-D遺伝子の検討	第27回札幌消化管研究会	札幌	2007年9月26日
田中浩紀, 有村佳昭, 矢花崇, 田中道寛, 後藤啓, 篠村恭久, 今井浩三	ラット実験腸炎において骨髄間葉系幹細胞は腸上皮幹細胞取って代わる	第44回日本消化器免疫学会総会	東京	2007年7月8-9日
Haneda S, Ogawa H, Miura K, Suzuki H, Sasaki I, Fukushima K, Takahashi K, Funayama Y	Treatment of Bacterial Catheter-Related Sepsis (CRS) with Antibiotic-Lock Technique (ALT)	International Surgical Week 2009	Adelaido	2009年10月9日
Nagao M, Fukushima K, Shibata C, Funayama Y, Sasaki I	Comparison of quality of life (QOL) between ileal J pouch-anal anastomosis and permanent ileostomy after proctocolectomy for ulcerative colitis in elderly patients	Society for Surgery of the Alimentary Tract 49th Annual Meeting	San Diego	2008年5月18日
Fukushima K, Funayama Y, Ogawa H, Takahashi K, Kudo K, Kohyama A, Hayashi K, Miura K, Oyama A, Sasaki I	Intestinal adaptation and pouchitis: Critical issues left behind after total proctocolectomy for ulcerative colitis	11TH Congress of Asian Federation of Coloproctology	Tokyo	2007年11月1日
Fukushima K, Funayama Y, Ogawa H, Takahashi K, Kudo K, Kohyama A, Hayashi K, Miura K, Oyama A, Sasaki I	Critical issues left behind after total proctocolectomy for ulcerative colitis	7TH Asian Pacific Digestive Week 2007	Kobe	2007年10月1日
羽根田祥, 小川 仁, 三浦 康, 安藤敏典, 西條文人, 矢崎伸樹, 田中直樹, 福島浩平, 高橋賢一, 舟山裕士, 柴田 近, 佐々木巖	潰瘍性大腸炎における回腸囊炎に対する治療法と臨床経過	第64回日本大腸肛門病学会	福岡	2009年11月6日
小川 仁, 羽根田祥, 西條文人, 柴田 近, 福島浩平, 高橋賢一, 舟山裕士, 佐々木巖	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門(管)吻合術後の周術期および長期経過	第64回日本大腸肛門会病学	福岡	2009年11月6日
小川 仁, 三浦 康, 安藤敏典, 矢崎伸樹, 羽根田祥, 唐沢秀明, 柴田近, 鹿郷昌之, 田中直樹, 佐々木巖	潰瘍性大腸炎に合併した大腸癌の臨床病理学的検討	第14回日本外科病理学会学術集会	福島	2009年10月10日
小川 仁, 羽根田祥, 三浦 康, 唐沢秀明, 矢崎伸樹, 安藤敏典, 高橋賢一, 舟山裕士, 福島浩平, 佐々木巖	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門吻合術後に発症する回腸囊炎の臨床経過	第64回日本消化器外科学会総会	大阪	2009年7月17日
羽根田祥, 小川 仁, 三浦 康, 岡部光規, 安藤敏典, 金子直征, 唐澤秀明, 佐藤 学, 山村明寛, 佐瀬友彦, 鈴木秀幸, 佐々木巖, 福島浩平, 高橋賢一, 舟山裕士	皮下埋め込み型中心静脈ポート感染に対して施行した抗生剤ロック療法(ATL)の検討	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月9日
小川 仁, 羽根田祥, 安藤敏典, 高橋賢一, 三浦 康, 舟山裕士, 福島浩平, 佐々木巖	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門(管)吻合術後回腸囊炎の臨床経過	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7日
羽根田祥, 三浦 康, 小川 仁, 岡部光規, 安藤敏典, 金子直征, 唐澤秀明, 山村明寛, 佐藤 学, 佐瀬友彦, 鈴木秀幸, 佐々木巖, 福島浩平, 高橋賢一, 舟山裕士	皮下埋め込み型中心静脈ポートの感染に対する抗生剤ロック療法(ATL)の有用性の検討	第109回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009年4月3日
小川 仁, 林 啓一, 羽根田祥, 安藤敏典, 高橋賢一, 三浦 康, 舟山裕士, 福島浩平, 佐々木巖	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門(管)吻合術の治療経過と長期予後	第109回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009年4月2日
羽根田祥, 小川 仁, 鈴木秀幸, 佐々木巖, 福島浩平, 舟山裕士, 高橋賢一	重症潰瘍性大腸炎症例に対する外科治療のタイミング	第5回日本消化管学会学術集会	東京	2009年2月13日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
小川 仁、佐藤 学、林 啓一、羽根田祥、安藤敏典、岡部光規、高橋賢一、三浦 康、舟山裕士、福島浩平、佐々木巖	炎症性腸疾患の病態に適した治療法の選択とその成績 潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門吻合術後のC.difficile関連難治性回腸囊炎	第63回日本大腸肛門病学会総会	東京	2008年10月16日
佐藤 学、福島浩平、柴田 近、三浦 康、小林照忠、小川仁、上野達也、鹿郷昌之、木内 誠、安藤敏典、小山 淳、長尾宗紀、神山篤史、林啓一、舟山裕士、高橋賢一、佐々木巖	潰瘍性大腸炎手術例の骨障害とその危険因子について	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月16日
長尾宗紀、福島浩平、柴田 近、三浦 康、小林照忠、小川 仁、鹿郷昌之、上野達也、木内 誠、安藤敏典、小山 淳、神山篤史、林 啓一、佐藤 学、舟山裕士、高橋賢一、佐々木巖	潰瘍性大腸炎術後回腸囊炎と鉄欠乏性貧血との関連に関する検討—鉄欠乏性貧血は回腸囊炎診断の一助となりうるか?—	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月16日
山村明寛、福島浩平、柴田 近、三浦 康、小林照忠、小川 仁、鹿郷昌之、上野達也、木内 誠、安藤敏典、小山 淳、神山篤史、林 啓一、佐藤 学、舟山裕士、高橋賢一、佐々木巖	直腸癌と深部静脈血栓症(DVT)を合併した潰瘍性大腸炎の1例	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月10日
長尾宗紀、福島浩平、小川 仁、小林照忠、鹿郷昌之、小山 淳、西條文人、長尾宗紀、神山篤史、前田晋平、舟山裕士、佐々木巖	潰瘍性大腸炎術後鉄欠乏性貧血についての検討—回腸囊炎との関連は?	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8日
高橋賢一、舟山裕士、朝倉 徹、福島浩平、柴田 近、小川 仁、岡本智子、徳村弘実、佐々木巖	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘後の合併症を予測しうる術前の栄養指標の検討	第23回日本静脈経腸栄養学会	京都	2008年2月22日
佐藤 学、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、小川 仁、神山篤史、林 啓一、佐々木巖	Crohn病長期経過例における肛門管癌発症例の検討	第70回大腸癌研究会	東京	2008年1月16日
神山篤史、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、小川 仁、小山 淳、林 啓一、佐藤 学、佐々木巖	Crohn病における直腸切断術と術後QOLについての検討	第62回日本大腸肛門病学会総会	東京	2007年11月2日
渡辺和宏、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、上野達也、長尾宗紀、神山篤史、林 啓一、佐々木巖	重症潰瘍性大腸炎の緊急手術例におけるHALS(Hand-assisted laparoscopic surgery)と開腹手術の比較検討	第62回日本大腸肛門病学会総会	東京	2007年11月2日
長尾宗紀、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、小林照忠、小川 仁、上野達也、木内 誠、小山 淳、神山篤史、林 啓一、佐々木巖	術後合併症からみた高齢者(50歳以上)潰瘍性大腸炎における至適術式の検討	第62回日本大腸肛門病学会総会	東京	2007年11月2日
福島浩平、小川 仁、長尾宗紀、神山篤史、林 啓一、三浦 康、小山 淳、鹿郷昌之、佐々木巖、舟山裕士、高橋賢一	潰瘍性大腸炎の難治例の手術成績と問題点	第25回大腸検査学会総会	東京	2007年9月8日
神山篤史、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、小川 仁、小山 淳、工藤克昌、林 啓一、佐藤 学、佐々木巖	Crohn病における直腸切断術と術後QOLについての検討	第62回日本消化器外科学会定期学術集会	東京	2007年7月18日
小川 仁、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、鹿郷昌之、小山 淳、長尾宗紀、工藤克昌、大沼忍、神山篤史、林 啓一、佐々木巖	クローン病に合併した難治性痔瘻に対するSeton手術の長期予後	第62回日本消化器外科学会定期学術集会	東京	2007年7月18日
高橋賢一、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、小林照忠、小川仁、上野達也、徳村弘実、佐々木巖	回腸瘻閉鎖術後管理におけるクリニカルパス導入の効果	第62回日本消化器外科学会定期学術集会	東京	2007年7月18日
福島浩平、舟山裕士、小川 仁、三浦 康、小山 淳、工藤克昌、神山篤史、柴田 近、佐々木巖、高橋賢一	ビタミンK欠乏により術後出血を来したクローン病の1例	第62回日本消化器外科学会定期学術集会	東京	2007年7月18日
舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、小川 仁、鹿郷昌之、小山 淳、渡辺和宏、工藤克昌、佐々木巖	潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門(管)吻合術後の機能評価とQuality of Life	第62回日本消化器外科学会定期学術集会	東京	2007年7月18日
高橋賢一、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、小林照忠、小川仁、上野達也、木内 誠、小山 淳、工藤克昌、神山篤史、林 啓一、岡本智子、稲村直子、徳村弘実、佐々木巖、梅崎良則	潰瘍性大腸炎手術例に対するビフィズス菌添加経腸栄養剤を用いた術後早期経腸栄養療法—特に大腸全摘術後の回腸腸内細菌叢形成過程に及ぼす影響について	第11回日本腸内細菌学会	東京	2007年6月14日
林啓一、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、高橋賢一、小川仁、上野達也、小山 淳、工藤克昌、神山篤史、佐藤学、佐々木巖	潰瘍性大腸炎、家族性大腸腺腫症に対する腹腔鏡化大腸全摘、回腸肛門吻合術における手術成績の検討	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月11日
神山篤史、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、上野達也、工藤克昌、林 啓一、佐々木巖	潰瘍性大腸炎における回腸囊肛門(管)吻合術後長期経過からみたpouch failureの要因の検討	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月11日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
高橋賢一、舟山裕士、福島浩平、溝井賢幸、柴田 近、三浦 康、小林照忠、小川 仁、上野達也、木内誠、小山 淳、工藤克昌、神山篤史、林 啓一、佐々木巖、岡本智子、佐藤なお子、梅崎良則	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘術後の栄養管理—中心静脈栄養とプロバイオティクス添加早期経腸栄養との比較検討—	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月11日
舟山裕士、福島浩平、溝井賢幸、柴田 近、三浦 康、高橋賢一、小林照忠、小川 仁、上野達也、木内誠、工藤克昌、神山篤史、林 啓一、佐藤 学、佐々木巖	炎症性腸疾患におけるストーマ周囲壊疽性膿皮症に対する早期ステロイド剤投与の効果	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月11日
佐々木巖	炎症性腸疾患の常識とEBM	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月11日
林 啓一、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、高橋賢一、小川 仁、上野達也、小山 淳、工藤克昌、神山篤史、佐藤 学、佐々木巖	潰瘍性大腸炎、家族性大腸腺腫症に対する腹腔鏡化大腸全摘、回腸肛門吻合術における手術成績の検討	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月19日
神山篤史、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、上野達也、工藤克昌、林 啓一、佐々木巖	潰瘍性大腸炎における回腸囊肛門(管)吻合術後長期経過からみたpouch failureの要因の検討	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月19日
高橋賢一、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、小林照忠、小川 仁、上野達也、木内 誠、小山 淳、西條文人、長尾宗紀、羽根田祥、渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史、林 啓一、佐々木巖	炎症性腸疾患におけるストーマ関連合併症の疾患特異的問題点の解析	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月19日
舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、高橋賢一、小川 仁、小山 淳、工藤克昌、神山篤史、林 啓一、佐藤 学、佐々木巖	炎症性腸疾患における大腸(直)全摘術後のストーマ周囲壊疽性膿皮症の病態	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月19日
Hirai F, Kube T, Matsui T, Tsuda S	Comparison of disease activity measures for Ulcerative colitis-Which index can be established as the gold standard index?	The 3rd Japan-Korea IBD Symposium	Korea	2008年9月20日
高津典孝、平井郁仁、松井敏幸	難知性潰瘍性大腸炎に対するTacrolimusの治療効果と安全性	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月14-17日
高津典孝、平井郁仁、松井敏幸	難知性潰瘍性大腸炎に対するTacrolimusの治療効果と安全性	第77回日本消化器内視鏡学会	名古屋	2009年5月21-23日
平井郁仁、別府孝浩、松井敏幸	Crohn病の小腸狭窄性病変に対する内視鏡的拡張術の治療成績	第63回日本大腸肛門病学会	東京	2008年10月17-18日
別府孝浩、平井郁仁、松井敏幸	炎症性腸疾患の小腸狭窄に対するダブルバルーン小腸内視鏡 (DBE) を用いた内視鏡的バルーン拡張術 (EBD) の有用性と問題点	第76回日本消化器内視鏡学会	東京	2008年10月1-4日
別府孝浩、平井郁仁、松井敏幸	クローン病の小腸病変に対する治療(薬物療法及び拡張術)	第75回日本消化器内視鏡学会総会	横浜	2008年5月24-26日
平井郁仁、高津典孝、松井敏幸	Crohn病予後良好例の検討—15年以上の長期経過例に対する追跡調査の解析—	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8-10日
高津典孝、村上右児、久部高司、平井郁仁、松井敏幸	Immunomodulatorによるクローン病治療の新展開	第4回日本消化管学会総会学術集会	大阪	2008年2月7-8日
小野陽一郎、平井郁仁、松井敏幸	Crohn病に対するInfliximabの長期治療成績—臨床的ならびに粘膜治癒に関する検討	第62回日本大腸肛門病学会総会	東京	2007年11月2-3日
平井郁仁、松井敏幸	Crohn病の小腸狭窄に対するダブルバルーン小腸内視鏡を用いた内視鏡的拡張術の有用性	第49回日本消化器病学会大会	神戸	2007年10月18-21日
村上右児、平井郁仁、松井敏幸	Crohn病 (CD) に対するAzathioprine(AZA)の臨床的有効性	第25回日本大腸検査学会	東京	2007年9月8-9日
村上右児、平井郁仁、松井敏幸	当院においてAzathioprine(AZA)を投与したクローン病(CD)患者の大腸病変と臨床効果の相関について	第73回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2007年5月9-11日
平井郁仁、松井敏幸、厚生省特定疾患難治生炎症性腸管障害調査研究班「臨床活動性指標と内視鏡指標の標準化」プロジェクト研究協力者	潰瘍性大腸炎(UC)の臨床評価とその指標の標準化；文献検索と実際の傾向	第73回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2007年5月9-11日
Mizukami T, Komatsu H, Hibi T	SIMPLE COLONOSCOPIC TECHNIQUE COMBINING WATER INFUSION AND COMPLETE AIR REMOVAL FROM THE RECTOSIGMOID COLON: COLLAPSE-SUBMERGENCE METHOD	GASTRO 2009 UEGW/WCOG	London	2009年11月21-25日
Inoue N, Hisamatsu T, Takayama T, Kamada N, Okamoto S, Yamada T, Hosono O, Morimoto C, Hibi T	CD26+ LYMPHOCYTES AND SERUM SOLUBLE CD26/ DIPEPTIDYL PEPTIDASE IV ARE INVOLVED IN THE PATHOGENESIS OF CROHN'S DISEASE	GASTRO 2009 UEGW/WCOG	London	2009年11月21-25日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Fukunaga K, Matsumoto T, Matsui T, Fujiyama Y, Takayama T, Ashida T, Kohgo Y, <u>Hibi T</u> , Watanabe M	The perceptions of risks and benefits of infliximab and Leukocytapheresis by Japanese patients with Inflammatory Bowel Disease	inflammatory bowel disease	Florida	2009年11月21-25日
Inoue N, Hisamatsu T, Takayama T, Okamoto S, Ogata H, Iwao Y, Yamada T, Hosono O, Morimoto C, <u>Hibi T</u>	CD26+ Lymphocytes and serum soluble CD26/ Dipeptidyl peptidase IV are involved in the pathogenesis of Crohn's Disease	inflammatory bowel disease	Florida	2009年11月21-25日
Okamoto S, Kamada N, <u>Hibi T</u>	Human CD14(+) macrophages in intestinal lamina propria exhibit potent antigen-presenting ability	inflammatory bowel disease	Florida	2009年11月3-6日
井上 詠, 長沼 誠, 岡本 晋, 今枝博之, 緒方晴彦, Tuzuki N, Takayama T, Hisamatsu T, Kamada N, Chinen H, Kitazume M, Saito R, Okamoto S, Kanai T, <u>Hibi T</u>	TL1A and IL-23 synergistically activate intestinal NK cells to produce IFN- γ and play the crucial role in the pathogenesis of Crohn's disease	第39回日本免疫学会総会 ワークショップ	大阪	2009年11月6日
Takayama T, Kamada N, Chinen H, Hisamatsu T, Kitazume M, Saito R, Okamoto S, Kanai T, <u>Hibi T</u>	Intestinal IFN- γ -producing CD56+CD3-NKp46+NKp44-NK cells participate in the pathogenesis of Crohn's disease via crosstalk with intestinal CD14+ macrophages.	第39回日本免疫学会総会 ワークショップ	大阪	2009年11月6日
Saito R, Hisamatsu T, Takayama T, Kamada N, Ando S, Inoue N, Okamoto S, Kanai T, <u>Hibi T</u>	胆汁酸はTGR5受容体を介してIL-12低産生型樹状細胞に分化誘導する/Bile acids generate IL-12 hypoproducing DCs via Tgr5 signaling pathway	第39回日本免疫学会総会 ワークショップ	大阪	2009年11月6日
Takazoe M, Watanabe M, Kawaguchi T, Matsumoto T, Oshitani N, Matsui T, Hiwatashi N, <u>Hibi T</u>	A RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, PLACEBO-CONTROLLED TRIAL OF ORAL ALPHA-4 INTEGRIN INHIBITOR(AJ300) IN PATIENTS WITH ACTIVE CROHN'S DISEASE	GASTRO 2009 UEGW/WCOG	London	2009年10月18-22日
Ogata H, Ito H, Motoya S, Takazoe M, Suzuki Y, Matsumoto T, Hirata I, Matsui T, <u>Hibi T</u>	CERTOLIZUMAB PEGOL IS EFFECTIVE AT INDUCING AND MAINTAINING RESPONSE AND REMISSION IN JAPANESE PATIENTS WITH CROHN'S DISEASE: RESULTS FROM INDUCTION AND MAINTENANCE STUDIES	GASTRO 2009 UEGW/WCOG	London	2009年10月18-22日
Inoue N, Hisamatsu T, Takayama T, Kamada N, Okamoto S, Yamada T, Hosono O, Morimoto C and <u>Hibi T</u>	CD4+Tlymphocytes with high CD26 surface expression are involved in the pathogenesis of inflammatory bowel disease	16th United European Gastroenterology Week	Austria	2009年10月18-22日
Ogata H, Kato J, Hirai F, Hida N, Matsui T, Matsumoto T and <u>Hibi T</u>	Oral administration of tacrolimus(FK506) enhances mucosal healing in refractory, moderate/severe ulcerative colitis	16th United European Gastroenterology Week	Austria	2009年10月3-8日
Hisamatsu T, <u>Hibi T</u>	INTESTINAL MACROPHAGES AND NK CELLS PLAY A CRUCIAL ROLE FOR THE PATHOGENESIS OF CROHN'S DISEASE	The 9th World Congress on Inflammation	Tokyo	2009年5月22日
Sakuraba A, Iwakami Y, and <u>Hibi T</u>	Granulocyte and monocyte adsorption apheresis therapy modulates monocyte derived dendritic cell function in patients with ulcerative colitis	16th United European Gastroenterology Week	Austria	2008年12月3日
<u>Hibi T</u> , Watanabe M, Camez A and Khan M	Efficacy and Safety of Adalimumab for the Treatment of Japanese Patients with Moderately to Severely Active Crohn's Disease:Results from a Randomized Controlled Trial	Annual Scientific Meeting and Postgraduate Course the American College of Gastroenterology	Florida	2008年12月3日
Kamada N, Hisamatsu T, Kobayashi T, Okamoto S, <u>Hibi T</u>	CD14陽性異常腸管マクロファージはIL-23/IFN- γ の炎症性経路を介してクローン病慢性腸管炎症に寄与している	第38回日本免疫学会総会	Kyoto	2008年12月3日
高田康裕, 久松理一, 鎌田信彦, 北爪美奈, 岡本 晋 金井隆典, <u>且比紀文</u>	MCP-1依存性腸管マクロファージサブセットの腸管免疫恒常性における役割	第38回日本免疫学会総会	Kyoto	2008年12月3日
Takayama T, Hisamatsu T, Kamada N, Chinen H, Kitazume M, Honda H, Ooshima Y, Saito R, Okamoto S, Kanai T, <u>Hibi T</u>	Intestinal NK cells produce large amount of IFN- γ via crosstalk with LP-M Φ in Crohn's disease	第38回日本免疫学会総会	Kyoto	2008年12月3日
本田治樹, 鎌田信彦, 岡本 晋, 久松理一, <u>且比紀文</u>	クローン病腸管におけるTL1A及びIL-23のTh1/Th17型免疫反応への寄与	第38回日本免疫学会総会	Kyoto	2008年12月3日
安藤 撰, 鎌田信彦, 岡本 晋, 久松理一, <u>且比紀文</u>	マクロファージにおけるIL-10を介した炎症制御機構—マクロファージサブセットによるIL-10の働きの違い	第38回日本免疫学会総会	Kyoto	2008年12月3日
大嶋洋佑, 鎌田信彦, 岡本 晋, 久松理一, <u>且比紀文</u>	クローン病腸管マクロファージによる腸内細菌認識異常とNOD2の関与	第38回日本免疫学会総会	Kyoto	2008年12月2日
成瀬浩史, 鎌田信彦, 岡本 晋, 久松理一, <u>且比紀文</u>	IL-10KOマウスにおけるマクロファージからのIL-12/IL-23過剰産生機序の解明	第38回日本免疫学会総会	Kyoto	2008年12月2日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Kobayashi T, Okamoto S, Hisamatsu T, Kamada N, Chinen H, Kanai T, Ishobe K, <u>Hibi T</u>	IL-23は潰瘍性大腸炎とクローン病においてTh1/Th17バランスを異なった形で制御する	第38回日本免疫学会総会	Kyoto	2008年12月1日
Sakuraba A, Iwakami Y, <u>Hibi T</u>	Granulocyte and monocyte adsorption apheresis therapy modulates monocyte derived dendritic cell function in patients with ulcerative colitis	16th United European Gastroenterology Week	Austria	2008年10月18-22
Ogata H, Kato J, Hirai F, Hida N, Matsui T, Matsumoto T, <u>Hibi T</u>	Oral administration of tacrolimus (FK506) enhances mucosal healing in refractory, moderate/severe ulcerative colitis	16th United European Gastroenterology Week	Austria	2008年10月18-22
Inoue N, Hisamatsu T, Takayama T, Kamada N, Okamoto S, Yamada T, Hosono O, Morimoto C, <u>Hibi T</u>	CD4+T lymphocytes with high CD26 surface expression are involved in the pathogenesis of inflammatory bowel disease	16th United European Gastroenterology Week	Austria	2008年10月18-22
<u>Hibi T</u> , Watanabe M, Camez A, Khan M	Efficacy and Safety of Adalimumab for the Treatment of Japanese Patients with Moderately to Severely Active Crohn's Disease: Results from a Randomized Controlled Trial	Annual Scientific Meeting and Postgraduate Course the American College of Gastroenterology	Florida	2008年10月3-8日
Nagahama K, Sugimoto K, Shimomura Y, Ogawa A, Andoh A, Kobayashi T, Kamada N, Hisamatsu T, <u>Hibi T</u>	Blumberg RS, and Mizoguchi A: Regulation of Colonic CD4+T Cell Activation By Modification of Carbohydrate Assembly	Digestive Disease Week and the 109th Annual Meeting of the AGA Institute	San Diego CA	2008年5月17-22日
Takada Y, Hisamatsu T, Kamada N, Saito R, Kobayashi T, Chinen H, Okamoto S, <u>Hibi T</u>	Intestinal macrophages recruited by MCP-1 negatively regulate intestinal inflammation via production of anti-inflammatory cytokine IL-10	Digestive Disease Week and the 109th Annual Meeting of the AGA Institute	San Diego CA	2008年5月17-22日
Ichikawa H, Okamoto S, Kamada N, Kobayashi T, Takayama T, Hisamatsu T, <u>Hibi T</u>	Anti-inflammatory effects of Opc-6535; PDE4 may be a new therapeutic target in inflammatory bowel diseases	Digestive Disease Week and the 109th Annual Meeting of the AGA Institute	San Diego CA	2008年5月17-22日
Inoue N, Hisamatsu T, Takayama T, Morimoto C, <u>Hibi T</u>	Mucosal CD4+ T lymphocytes with high CD26 surface expression are enriched for memory/effector cells and involved in the pathogenesis of inflammatory bowel disease	Digestive Disease Week and the 109th Annual Meeting of the AGA Institute	San Diego CA	2008年5月17-22日
Okamoto S, Inoue N, Hisamatsu T, Ogata H, Suzuki Y, Matsumoto T, <u>Hibi T</u>	A lecithinized superoxide dismutase (PC-SOD) improves ulcerative colitis	Digestive Disease Week and the 109th Annual Meeting of the AGA Institute	San Diego CA	2008年5月17-22日
Hisamatsu T, Andou A, Okamoto S, Chinen H, Kamada N, Hashimoto M, Kihara H, <u>Hibi T</u>	L-histidine ameliorates IL-10 deficient cells transfer murine colitis model by inhibition of pro-inflammatory cytokine production from mononuclear cells	13th International Congress of Mucosal Immunology	Tokyo	2007年7月11日
Kobayashi T, Okamoto S, Iwakami Y, Nakazawa A, Hisamatsu T, Chinen H, Kamada N, Imai T, Goto H, <u>Hibi T</u>	Exclusive increase of CX3CR1+CD28-CD4+T cells in inflammatory bowel disease and their recruitment as intraepithelial lymphocytes	13th International Congress of Mucosal Immunology	Tokyo	2007年7月11日
Chinen H, Kamada N, Okamoto S, Hisamatsu T, Kobayashi T, Kinjo F, Fujita J, <u>Hibi T</u>	In situ natural killer cell differentiation from lamina propria c-kit+ immune precursor cells in human adult intestine	13th International Congress of Mucosal Immunology	Tokyo	2007年7月11日
Kamada N, Hisamatsu T, Okamoto S, Chinen H, <u>Hibi T</u>	Intestinal macrophages in human Crohn's disease produce excess IL-23 in response to commensal bacteria	13th International Congress of Mucosal Immunology	Tokyo	2007年7月10日
Kobayashi T, Kamada N, Hisamatsu T, Okamoto S, Chinen H, Saito R, Goto H, <u>Hibi T</u>	Abnormally differentiated intestinal macrophage causes both Th1 and Th17 induction in IL-10 deficient mice	Digestive Disease Week and the 108th Annual Meeting of the AGA Institute	Washington DC	2007年5月21日
Naganuma M, Ichikawa H, Hisamatsu T, Okamoto S, Sakuraba A, Ogata H, Iwao Y, <u>Hibi T</u>	Novel Endoscopic activity index is useful to decide treatment options of active ulcerative colitis	Digestive Disease Week and the 108th Annual Meeting of the AGA Institute	Washington DC	2007年5月21日
Hisamatsu T, Okamoto S, Andou A, Muramatsu T, Kamada N, Takayama T, Takada Y, Ichikawa H, Izumiya M, Sakuraba A, Naganuma M, Nakazawa A, Ogata H, Iwao Y, Sakai R, Suzuki M, <u>Hibi T</u>	Profiling of amino acids metabolism ("Amino Index) is useful for diagnosis, judgment of clinical activity, and understanding of pathophysiology in inflammatory bowel disease	Digestive Disease Week and the 108th Annual Meeting of the AGA Institute	Washington DC	2007年5月21日
Kamada N, Hisamatsu T, Chinen H, Kobayashi T, Okamoto S, <u>Hibi T</u>	Abnormally differentiated intestinal macrophages in human Crohn's disease produce excess IL-23 in response to the enteric bacteria	Digestive Disease Week and the 108th Annual Meeting of the AGA Institute	Washington DC	2007年5月21日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Ogata H, Kamada N, Inoue N, Hibi T	Effect of rabamide on disruption of tight junctional protein, claudin-1, and trans-epithelial electrical resistance induced by oxidative stress in intestinal inflammation	Digestive Disease Week and the 108th Annual Meeting of the AGA Institute	Washington DC	2007年5月20日
Inoue N, Yoshizawa S, Matsuoka K, Takaishi H, Ogata H, Iwao Y, Mukai M, Fujita T, Kawakami Y, Hibi T	Clinical significance of serum p53 antibodies in patients with ulcerative colitis and its carcinogenesis	Digestive Disease Week and the 108th Annual Meeting of the AGA Institute	Washington DC	2007年5月20日
Kobayashi T, Kamada N, Okamoto S, Hisamatsu T, Inoue N, Hibi T	Abnormal innate immune response and Th1/Th17 induction in murine colitis and human inflammatory bowel disease	94th Annual Meeting of American Association of Immunologists	Miami	2007年5月20日
筋野智久、長沼 誠、井上 詠、岡本 晋、斎藤理子、細江直樹、今枝博之、緒方晴彦、岩男 泰、且比紀文	クローン病術後再燃に対するインフリキシマブの有効性に関する内視鏡的検討	第27回日本大腸検査学会総会シンポジウム	東京	2009年12月3日
小池祐司、緒方晴彦、大熊 潔、高山哲朗、筋野智久、松岡克善、久松理一、岡本 晋、金井隆典、岩男 泰、且比紀文	消化管超音波検査を用いた潰瘍性大腸炎の評価	第27回日本大腸検査学会総会ワークショップ	東京	2009年12月3日
丸山悠里子、小林 拓、長沼 誠、岩崎栄典、山岸由幸、久松理一、岡本 晋、金井隆典、且比紀文、高石官均、岩男 泰、緒方晴彦	潰瘍性大腸炎に対しシクロスポリン持続静注で緩解導入した後の再燃に対し2度目の投与を行った2症例	第304回日本消化器病学会 特別講演	東京	2009年11月3-6日
小林 拓、長沼 誠、且比紀文	重症潰瘍性大腸炎におけるサイクロスポリン持続静注療法の長期成績	第95回日本消化器病学会 シンポジウム	北海道	2009年11月3-6日
岡本 晋、高山哲郎、井上 詠、長沼 誠、緒方晴彦、岩男 泰、且比紀文	クローン病におけるInfiximab計画的投与の長期成績とその位置づけ	第64回日本大腸肛門病学会学術集会 シンポジウム	福岡	2009年10月15日
岩男 泰、且比紀文	クローン病術後再燃に対するインフリキシマブの有効性に関する内視鏡的検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会 ワークショップ	福岡	2009年10月15日
森谷弘乃介、長谷川博俊、石井良幸、遠藤高志、岡林剛史、飯田修史、林 竜平、内田 寛、平田 玲、代永和秀、岡本 晋、長沼 誠、且比紀文、北川雄光	大腸全摘術後に広範な小腸虚血を生じ、大量小腸切除を施行した全大腸炎型潰瘍性大腸炎1例	第51回日本消化器病学会大会ポスターセッション	京都	2009年7月9日
佐藤亜沙香、長沼 誠、朝倉敬子、西脇祐司、矢島知治、久松理一、岡本 晋、井上 詠、金井隆典、緒方晴彦、岩男 泰、武林 亨、且比紀文	男性炎症性腸疾患患者の妊娠に対する意識調査と配偶者の妊娠・出産経過の検討	第51回日本消化器病学会大会ポスターセッション	京都	2009年6月12日
長沼 誠、細江直樹、別所理恵子、井田陽介、且比紀文、緒方晴彦、今枝博之	炎症性腸疾患の小腸病変に対するカプセル内視鏡の有用性	第88回日本内視鏡学会関東地方会 シンポジウム	東京	2009年5月22日
長沼 誠、緒方晴彦、且比紀文	炎症性腸疾患の小腸病変評価・治療にカプセル内視鏡・バルーン小腸内視鏡は有用か？	第77回日本消化器内視鏡学会総会 ビデオシンポジウム	名古屋	2009年5月22日
長沼 誠、今枝博之、且比紀文	バルーン小腸内視鏡による術後再燃の評価は治療方針の変更には有用か？	第95回日本消化器病学会 パネルディスカッション	北海道	2009年5月16日
緒方晴彦、松井敏幸、且比紀文	難治性潰瘍性大腸炎に対するTacrolimusの緩解導入効果一多施設共同試験(Phase-111) 成績報告	第77回日本消化器内視鏡学会総会 シンポジウム	名古屋	2009年5月8日
樋渡信夫、且比紀文、棟方昭博	中毒症活動期大腸炎に対するペンタサ錠4,000mg/日の有用性一多施設二重盲検比較試験の成績より	第77回日本消化器内視鏡学会総会 シンポジウム	名古屋	2009年5月8日
斎藤理子、久松理一、高山哲朗、鎌田信彦、且比紀文	胆汁酸によるIL-12低産生型樹状細胞の誘導機序	第95回日本消化器病学会 一般演題	北海道	2009年5月8日
高山哲朗、知念 寛、鎌田信彦、久松理一、北爪美奈、本田治樹、大嶋洋佑、高田康裕、斎藤理子、岡本 晋、金井隆典、且比紀文	腸管NK細胞は腸管マクロファージとのIL-23, CD48を介した相互作用により過剰なIFN- γ を産生する	第95回日本消化器病学会 一般演題	北海道	2009年5月8日
高田康裕、久松理一、鎌田信彦、知念 寛、岡本 晋、且比紀文	MCP-1依存性腸管マクロファージサブセットの腸管免疫恒常性における役割	第95回日本消化器病学会 一般演題	北海道	2009年5月7日
河村由紀、豊田 実、川島 麗、Vongsavanh Phongsisay、河村 裕、小西文雄、斎藤幸夫、矢島知治、且比紀文、松本蒼之、神奈木玲児、今井浩三、土肥多恵子	潰瘍性大腸炎および大腸癌におけるSda糖鎖合成酵素遺伝子のDNA異常メチル化による転写抑制	第67回日本癌学会学術総会	名古屋	2008年10月29日
林 竜平、長谷川博俊、石井良幸、遠藤高志、岡林剛史、内田 寛、飯田修史、長沼 誠、且比紀文、北川雄光	クローン病における腹腔鏡下手術の適応と限界	第63回日本大腸肛門病学会	東京	2008年10月18日
岡林剛史、長谷川博俊、石井良幸、遠藤高志、落合大樹、長沼 誠、且比紀文、北川雄光	潰瘍性大腸炎癌化症例に対する腹腔鏡下手術の適応と成績	第63回日本大腸肛門病学会	東京	2008年10月17日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
長沼 誠、久松理一、岡本 晋、井上 詠、金井隆典、緒方晴彦、岩男 泰、且比紀文	クローン病発症早期の活動性病変・術後再燃予防にInfliximabは有用か？	第63回日本大腸肛門病学会	東京	2008年10月17日
久松理一、安藤綾俊、且比紀文	炎症性腸疾患におけるアミノ酸代謝モニタリングと診断への応用	第50回日本消化器病学会大会	東京	2008年10月3日
長沼 誠、岡本 晋、且比紀文	Infliximab を用いたクローン病治療の新しい戦略	第50回日本消化器病学会大会	東京	2008年10月3日
長沼 誠、細江直樹、且比紀文	シングルバルーン小腸内視鏡を用いたクローン病術後再燃の評価	第76回日本消化器内視鏡学会	東京	2008年10月2日
上野文昭、松井敏幸、且比紀文	クローン病診療ガイドライン(案)の作成過程	第50回日本消化器病学会大会	東京	2008年10月1日
久松理一、鎌田信彦、小林 拓、岡本 晋、井上 詠、緒方晴彦、金井隆典、且比紀文	クローン病における腸管マクロファージの腸内細菌認識異常—IL-23を中心とした慢性炎症サイクル—	第45回日本消化器免疫学会	京都	2008年7月4日
高田康裕、久松理一、鎌田信彦、斎藤理子、高山哲朗、市川仁志、小林 拓、知念 寛、井上 詠、岡本 晋、且比紀文	MCP-1 依存性腸管マクロファージサブセットの腸管免疫恒常性における役割	第45回日本消化器免疫学会	京都	2008年7月3日
市川仁志、久松理一、岡本 晋、長沼 誠、高田康裕、高山哲朗、矢島知治、且比紀文、緒方晴彦、井上 詠、岩男 泰	重症潰瘍性大腸炎の治療方針における内視鏡スコアの有用性—従来の内視鏡重症度分類との比較—	第86回日本消化器内視鏡学会関東地方会	東京	2008年6月21日
長沼 誠、細江直樹、中溝裕雅、柏木和弘、久松理一、岡本 晋、且比紀文、今枝博之、緒方晴彦、井上 詠、岩男 泰	シングルバルーン小腸内視鏡を用いたクローン病術後再燃の評価	第86回日本消化器内視鏡学会関東地方会	東京	2008年6月20日
長沼 誠、小林 拓、且比紀文	アデニン受容体をターゲットとした炎症性腸疾患に対する治療法	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月9日
矢島知治、長沼 誠、且比紀文	6-MP/AZA服用中のIBD患者における赤血球中6-thioinosine nucleotides 濃度の測定	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8日
小池祐司、大熊 潔、長沼 誠、高山哲朗、高田康裕、市川仁志、江崎俊彦、矢島知治、井上 詠、久松理一、岡本 晋、緒方晴彦、岩男 泰、且比紀文	潰瘍性大腸炎の治療戦略に関する体外式超音波を用いた消化管エコー検査の有用性の検討	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8日
長沼 誠、井上 詠、岩男 泰、且比紀文	シクロスポリンA、インフリキシマブはステロイドより先に行われるべきか？	第62回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2007年11月2日
且比紀文	クローン病マクロファージの腸内細菌に対する免疫応答異常	第35回日本臨床免疫学会総会	大阪	2007年10月19日
小林 拓、岡本 晋、久松理一、鎌田信彦、新井久美子、知念 寛、井上 詠、磯部健一、且比紀文	IL-10ノックアウトマウス腸炎におけるTh1/Th17バランスへの抗原提示細胞の関与	第35回日本臨床免疫学会総会	大阪	2007年10月19日
矢島知治、長沼 誠、且比紀文	6-MP/AZA代謝におけるITPase遺伝子多型の意義	第49回日本消化器病学会大会	神戸	2007年10月19日
和田安代、久松理一、鎌田信彦、岡本 晋、知念 寛、小林 拓、且比紀文	合成Retinoic acid receptor agonist (AM80) は樹状細胞の分化に作用しIL-12産生を抑制することでDSS腸炎を改善させる	第28回日本炎症・再生医学会	東京	2007年8月3日
新井久美子、小林 拓、岡本 晋、久松理一、鎌田信彦、知念 寛、中澤 敦、矢島知治、井上 詠、市川仁志、高山哲朗、緒方晴彦、且比紀文	IL-10ノックアウトマウス腸炎モデルにおけるTh1/Th17バランスとその制御	第44回日本消化器免疫学会総会	東京	2007年7月9日
岡本 晋、鈴木康夫、松本善之、且比紀文	潰瘍性大腸炎に対するPC-SODの治療効果の検討	第44回日本消化器免疫学会総会	東京	2007年7月9日
岩男 泰、井上 詠、且比紀文	colitic cancer の内視鏡像と新しいサーベイランスプログラム構築に向けて	第73回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2007年5月11日
長沼 誠、市川仁志、且比紀文	潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法・シクロスポリンAの治療効果の予測因子に内視鏡スコアは有用か？	第73回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2007年5月11日
長沼 誠、桜庭 篤、且比紀文	潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法・シクロスポリンAの治療効果の予測因子の検討	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月21日
久松理一、鎌田信彦、且比紀文	クローン病における腸管マクロファージによる腸内細菌認識異常とTh-1誘導マクロファージを中心とした炎症サイクル	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月19日
Fujiya M, Ueno N, Segawa S, Nata T, Moriichi K, Tanabe H, Mizukami Y, Kobayashi N, Ito K, Kohgo Y	Heat killed Lactobacillus brevis SBC8803 improves intestinal injury in a murine model of colitis via the enhancement of the intestinal barrier function and the down-regulation of pro-inflammatory cytokines	The 4th Korea-Japan Inflammatory Bowel Disease Symposium	Tokyo	2010年1月23日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Segawa S, Wakita Y, Hirata H, Ueno N, Kobayashi N, Fujiya M, Ito K and Kohgo Y	Oral administration of heat-killed Lactobacillus brevis SBC8803 ameliorates alcoholic liver disease in ethanol-containing diet-fed C57BL/6N mice	4th International symposium on ALPD (Alcoholic Liver and Pancreatic Diseases) and cirrhosis.	Cairo, Egypt	2009年10月8日
Ueno N, Fujiya M, Segawa S, Nata T, Inaba Y, Moriichi K, Tanabe H, Kohgo Y	Heat killed Lactobacillus brevis SB8803 contributes to intestinal homeostasis via induction of heat shock proteins and activation of p38 mitogen-activated protein kinase	Cell stress society international, 4th international conference	Sapporo	2009年10月6日
Nata T, Fujiya M, Tanabe H, Mizukami Y, Kohgo Y	microRNA 146 activates NFkB pathway and possibly modulates intestinal inflammation	13th International Conference of Mucosal Immunology	Boston	2009年7月7日
Moriichi K, Watari J, Das KM, Tanabe H, Fujiya M, Ueno N, Ishikawa C, Inaba Y, Ito T, Sato R, Okamoto K, Kohgo Y	Effects of Helicobacter pylori infection on aberrant CpG island methylation status and cellular phenotype in columnar-lined esophagus in a Japanese population	DDW 2009 (AGA)	Chicago	2009年6月1日
Fujiya M, Inaba Y, Nata T, Moriichi K, Okamoto K, Tanabe H, Mizukami Y, Chang EB, Kohgo Y	Bacillus subtilis-produced pentapeptide csf contributes to intestinal homeostasis via octn2, a host cell membrane transporter	13th Taishotoyama International Symposium on Gastroenterology	Shimoda	2009年4月18日
Nata T, Fujiya M, Mizukami Y, Ueno N, Moriichi K, Okamoto K, Ashida T, Kohgo Y	microRNA 146 activates NFkB pathway and possibly modulates intestinal inflammation	2nd JUCC (The 2nd Japan & US Collaboration Conference in Gastroenterology)	Tokyo	2008年11月20日
Moriichi K, Watari J, Das KM, Tanabe H, Sato R, Zaky AH, Ueno N, Konno Y, Ishikawa C, Inaba Y, Ito T, Okamoto K, Maemoto A, Fujiya M, Ashida T, Kohgo Y	Effects of Helicobacter pylori Infection On Genetic Instability, Aberrant CpG Island Methylation Status and Cellular Phenotype in Intestinal Metaplasia of Barrett's Esophagus in Japanese Population: A Prospective Follow-Up Study After Eradication	DDW 2008 (AGA)	San Diego	2008年5月19日
Ueno N, Moriichi K, Ikuta K, Konno Y, Ishikawa C, Ito T, Sato R, Okamoto K, Tanabe H, Maemoto A, Sato K, Fujiya M, Watari J, Ashida T, Saitoh Y, Kohgo Y	Endoscopic auto fluorescence imaging is useful for detecting colonic small lesions of lymphoma resembling lymphoid hyperplasia	DDW 2008 (ASGE)	San Diego	2008年5月18日
Fujiya M, Kohgo Y	Novel organic cation transporter 2 (OCTN2) transports probiotics-produced peptides and modulates intestinal homeostasis	2007 US-Japan GI liver meeting	Kyoto	2007年6月22日
Konno Y, Watari J, Sato R, Ueno N, Ishikawa C, Inaba Y, Moriichi K, Okamoto K, Tanabe H, Fujiya M, Maemoto A, Ashida T, Kohgo Y	Usefulness of transnasal ultrathin esophagogastroduodenoscopy for the placement of a long intestinal tube in the patient with intestinal obstruction: a prospective pilot study for a new procedure	DDW 2007 (ASGE)	Washington DC	2007年5月24日
Moriichi K, Watari J, Das KM, Tanabe H, Sato R, Zaky AH, Konno Y, Ishikawa C, Inaba Y, Okamoto K, Maemoto A, Fujiya M, Ashida T, Kohgo Y	Effects of Helicobacter pylori infection on genetic instability and cellular phenotype in intestinal metaplasia in Japanese patients with Barrett's esophagus: a prospective 1-year follow up study	DDW 2007 (AGA)	Washington DC	2007年5月20日
岡本耕太郎、藤谷幹浩、高後 裕	枯草菌 (bacillus subtilis) 由来の Competence and sporulation factor (CSF) は免疫調節作用や細胞保護作用を介して腸管炎症における粘膜上皮細胞障害を改善する	第47回小腸研究会	福岡	2009年11月14日
上野 伸展、瀬川修一、藤谷幹浩、杉山隆治、奈田利恵、野村好紀、嘉島 伸、石川千里、稲場勇平、伊藤貴博、盛一健太郎、岡本耕太郎、高後 裕	新規芽乳酸菌の腸管に対する生理活性の解明	第46回日本消化器免疫学会総会	松山	2009年7月24日
河端秀賢、林 宏宏、杉山隆治、奈田利恵、野村好紀、上野伸展、嘉島 伸、石川千里、伊藤貴博、盛一健太郎、岡本耕太郎、藤谷幹浩、千里直之、海老澤良昭、河野 透、高後 裕	潰瘍性大腸炎術後回腸嚢炎 (pouchitis) に関する検討	第104回日本消化器病学会北海道支部例会	札幌	2009年6月6日
藤谷幹浩、岡本耕太郎、蘆田知史、高後 裕	クローン病術後症例におけるインフリキシマブの効果	第5回日本炎症性腸疾患研究会	東京	2009年2月7日
藤谷幹浩、高後 裕	小腸疾患の病態解明を目指して「腸管上皮細胞膜トランスポーターOCTN2を介した新しい宿主-腸内細菌相互作用の解明」.	第46回小腸研究会	東京	2008年11月29日
盛一健太郎、藤谷幹浩、上野伸展、金野陽高、石川千里、稲場勇平、伊藤貴博、岡本耕太郎、田邊裕貴、佐藤 龍、渡 二郎、高後 裕	大腸病変診断における自家蛍光内視鏡の有用性について	第38回日本消化器がん検診学会	札幌	2008年7月12日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
佐藤 龍, 藤谷幹浩, 高後 裕.	特殊光観察(拡大内視鏡・NBIなど)による内視鏡診断 「AFIを用いた潰瘍性大腸炎の重症度診断」.	第49回日本消化器病学会大会, 第74回日本消化器内視鏡学会総会, 第45回日本消化器がん検診学会大会(合同)	神戸	2007年10月21日
藤谷幹浩, 蘆田知史, 高後 裕.	腸管内環境と消化管機能「腸管保護作用を有するプロバイオティクス産生物質の同定と腸疾患治療への応用」	第49回日本消化器病学会大会, 第38回日本消化吸収学会総会(合同)	神戸	2007年10月21日
藤谷幹浩, 盛一健太郎, 佐藤 龍, 岡本耕太郎, 田邊裕貴, 前本篤男, 渡 二郎, 蘆田知史, 高後 裕, 斉藤裕輔.	自家蛍光内視鏡を用いた新しい潰瘍性大腸炎診断の可能性と数値化の試み	第244回日本内科学会北海道地方会	旭川	2007年9月8日
藤谷幹浩, 蘆田知史, 高後 裕.	新しい内視鏡診断の可能性—機器進歩—「AFIを用いた新しい炎症性腸疾患診断の可能性と数値化の試み」.	第73回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2007年5月8日
Hiroshi Aoki, Ryuichi Furukawa, Akihiro Yamada, Koji Sono, Aisaku Osamura, Kentaro Nakamura, Yasushi Yoshimatsu, Yukiko Tuda, Nobuo Hosoe, Nobuo Takada, Yasuo Suzuki	The modulation of the Leukocyte Sensitivity to PGN by Granulocyte and Monocyte Apheresis	3rd Japan-Korea IBD symposium	Korea	2008年9月1日
Akihiro Yamada, Ryuichi Furukawa, Koji Sono, Aisaku Osamura, Kentaro Nakamura, Yasushi Yoshimatsu, Hiroshi Aoki, Yukiko Tsuda, Nobuo Hosoe, Nobuo Takada, Yasuo Suzuki, Koji Shirai, Ryuji Suzuki	BACTERIAL SUPER ANTIGENS AND TCRBV-BEARING T CELLS IN THE IMMUNOPATHOGENESIS OF ULCERATIVE COLITIS	3rd Japan-Korea IBD symposium	Korea	2008年9月1日
Hiroshi Aoki, Ryuichi Furukawa, Akihiro Yamada, Koji Sono, Aisaku Osamura, Kentaro Nakamura, Yasushi Yoshimatsu, Yukiko Tuda, Nobuo Hosoe, Nobuo Takada, Yasuo Suzuki.	The modulation of the Leukocyte Sensitivity to PGN by Granulocyte and Monocyte Apheresis	AGA	USA	2008年5月1日
Suzuki Y, Shiobara N, Saniabadi A, Suzuki S, Suzuki R.	Bacterial superantigens and TCRBV-bearing T cells in the immunopathogenesis of ulcerative colitis	15th United European Gastroenterology Week	Paris	2007年10月29日
I. Akihiro Yamada, Yasuo Suzuki, Aisaku Osamura, Kentaro Nakamura, Hiroshi Aoki, Yasus Yoshimatsu, Yukiko Tsuda, Masaki Irie, Nobuo Hosoe, Nobuo Takada,	Granulocyte and Monocyte Adsorptive Apheresis in Patients with Active Ulcerative Coliti	ISFA/WAA	YOKOHAMA	2007年3月1日
吉松安嗣, 鈴木康夫	炎症性腸疾患における内視鏡検査の意義	第28回 日本大腸検査学会総会	東京	2009年11月5日
津田裕紀子, 細江伸央, 鈴木康夫	潰瘍性大腸炎患者におけるprobioticsまたはsynbiotics投与による臨床的効果、腸内細菌叢の変動および便中の酪酸変動の検討	JDDW	京都	2009年10月19日
細江伸央, 菊地秀昌, 古川竜一, 山田哲弘, 曾野浩治, 長村愛作, 中村健太郎, 青木博, 吉松安嗣, 津田裕紀子, 高田伸夫, 鈴木康夫	クローン病患者における中鎖脂肪酸の有効性の検討	JDDW	京都	2009年10月19日
山田哲弘, 細江伸央, 鈴木康夫	難治性クローン病におけるThiopurine系薬剤とInfliximab併用投与の適応	JDDW	京都	2009年10月17日
青木博, 古川竜一, 山田哲弘, 曾野浩治, 長村愛作, 中村健太郎, 吉松安嗣, 津田裕紀子, 細江伸央, 高田伸夫, 鈴木康夫, 白井厚治	クローン病患者に対する小腸シングルバルーン内視鏡の現状	JDDW	京都	2009年10月17日
山田哲弘, 古川竜一, 曾野浩治, 長村愛作, 中村健太郎, 青木博, 吉松安嗣, 津田裕紀子, 細江伸央, 高田伸夫, 鈴木康夫, 白井厚治	サイトメガロウイルス腸炎を合併した難治性潰瘍性大腸炎寛解後の長期予後について	第95回日本消化器病学会総会	北海道	2009年5月
吉村直樹, 鈴木康夫, 高添正和	シクロスポリン持続静注療法を導入した重症難治性潰瘍性大腸炎の長期予後の検討	第95回日本消化器病学会総会	北海道	2009年5月
曾野浩治, 古川竜一, 山田哲弘, 長村愛作, 中村健太郎, 青木博, 吉松安嗣, 津田裕紀子, 細江伸央, 高田伸夫, 鈴木康夫, 白井厚治	5-ASA製剤不耐潰瘍性大腸炎患者に対する治療の検討	第95回日本消化器病学会総会	北海道	2009年5月
吉松安嗣, 青木博, 鈴木康夫	血球成分吸着除去療法を中心とした新潰瘍性大腸炎治療戦略	第79回 日本消化器内視鏡学会総会	名古屋	2009年5月15日
中村健太郎, 細江伸央, 鈴木康夫	内視鏡を用いた消化器機能検査 潰瘍性大腸炎患者における大腸内視鏡施行時の13C 総酸注腸呼吸気試験	第79回 日本消化器内視鏡学会総会	名古屋	2009年5月15日
土屋真里, 真坂互, 鈴木康夫, 佐藤光利	難治性クローン病におけるThiopurine系薬剤と抗TNF- α 製剤併用療法の意義	第129回日本薬学会	京都	2009年3月15日
細江伸央, 鈴木康夫	炎症性腸疾患の食事療法 クローン病患者における中鎖脂肪酸の有効性の検討	第30回日本臨床栄養学会総会	東京	2008年10月1日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
細江伸央、中村健太郎、鈴木康夫	潰瘍性大腸炎患者における13C 酢酸注腸呼吸試験の有用性	JDDW2008	東京	2008年10月
山田哲弘、古川竜一、曾野浩治、長村愛作、中村健太郎、吉松安嗣、青木博、津田裕紀子、細江伸央、高田伸夫、白井厚治、村野武博、鈴木康夫	潰瘍性大腸炎患者粘膜局所におけるToll-like Receptor発現の検討	JDDW2008	東京	2008年10月
古川竜一、鈴木康夫、粕谷秀輔、山田哲弘、曾野浩治、長村愛作、中村健太郎、青木博、吉松安嗣、津田裕紀子、細江伸央、高田伸夫、白井厚治、二本柳康弘、大城充、木下敬弘、岡住慎一、加藤良二、蛭田啓之、亀田典章	Crohn病に合併した回腸癌の1例	JDDW2008	東京	2008年10月
吉松安嗣、鈴木康夫、古川竜一、山田哲弘、曾野浩治、長村愛作、中村健太郎、青木博、津田裕紀子、細江伸央、高田伸夫、白井厚治	若年クローン病患者に対するレミケード投与の検討	JDDW2008	東京	2008年10月
中村健太郎、細江伸央、鈴木康夫	潰瘍性大腸炎内視鏡検査施行時における13C 酢酸注腸呼吸試験の有用性	第86回日本消化器内視鏡学会関東地方会	東京	2008年6月1日
青木博、鈴木康夫、山田哲弘、長村愛作、中村健太郎、吉松安嗣、津田裕紀子、入江正紀、細江伸央、高田伸夫、白井厚治	潰瘍性大腸炎における顆粒球・単球吸着療法の効果とTLR発現変化の機序の解明	JDDW	神戸	2007年10月19日
津田裕紀子、鈴木康夫、山田哲弘、長村愛作、中村健太郎、青木博、吉松安嗣、入江正紀、細江伸央、高田伸夫、白井厚治	潰瘍性大腸炎におけるprobiotics投与の臨床効果と便中細菌叢に対する影響	JDDW	神戸	2007年10月19日
吉松安嗣、細江伸央、鈴木康夫	小児クローン病に対するレミケード治療の検討	大腸検査学会	東京	2007年9月8日
山田哲弘、清川 甫、古寺順一、菊池秀昌、粕谷秀輔、山口 崇、古川竜一、長村愛作、中村健太郎、青木博、吉松安嗣、津田裕紀子、入江正紀、細江伸央、高田伸夫、鈴木康夫、白井厚治、蛭田啓之、亀田典章	サイクロスポリン持続静注療法が奏功した中等度潰瘍性大腸炎の一例	日本消化器病学会関東支部例会、第296回	東京	2007年9月8日
細江伸央、鈴木康夫、白井厚治	活動期潰瘍性大腸炎の内視鏡所見による治療法の選択	日本消化器内視鏡学会総会	東京	2007年5月10日
吉松安嗣、鈴木康夫、古川竜一、山田哲弘、長村愛作、中村健太郎、青木博、津田裕紀子、入江正紀、細江伸央、高田伸夫、白井厚治	潰瘍性大腸炎におけるL-グルタミン注腸療法の有用性検討	日本消化器病学会総会	青森	2007年4月19日
Hoshino S, Inaba M, Iwai H, Ito T, Li M, Eric Gershwin M, Okazaki K, Ikehara S	The role of dendritic cell subsets in 2,4,6-trinitrobenzene sulfonic acid-induced ileitis	第39回日本免疫学会総会	大阪国際会議場	2009年12月1日
Ando Y, Inaba M, Sakaguchi Y, Tsuda M, Quan GK, Omae M, Okazaki K, Ikehara S	Adipose Tissue-Derived Stem Cells Facilitate Colonic Mucosal Recovery in Experimental Colitis Rats	Digestive Disease Week	San Diego	2008年5月1日
Ando Y, Inaba M, Sakaguchi Y, Tsuda M, Quan GK, Omae M, Okazaki K, Ikehara S	Adipose Tissue-Derived Stem Cells Facilitate Colonic Mucosal Recovery in Experimental Colitis Rats	The 13th International Congress of Mucosal Immunology	Tokyo	2008年1月1日
Tanaka J, Saga K, Kido M, Aoki N, Iwamoto S, Nishiura H, Chiba T, Watanabe N	Proinflammatory Th2 cytokines induce production of thymic stromal lymphopoietin in human colonic epithelial cells	日本免疫学会総会 学術集会 2009・ワークショップ	大阪	2009年12月2日
Seno H	Efficient colonic mucosal wound repair requires Trem2-dependent alternative activation of macrophages	US-Japan GI Esecutive Meeting	Kyoto	2009年6月19日
Uza N, Nakase H, Chiba T	The Critical role of CXCL chemokine ligand 16/scavenger receptor in the pathogenesis of inflammatory bowel disease	Digestive Disease Week and the 110th Annual Meeting of the AGA Institute	Chicago	2009年6月1日
Ueno S, Nakase H, Chiba T	Activation of immune response by osteopontin prevents onset of spontaneous colitis	Digestive Disease Week and the 110th Annual Meeting of the AGA Institute	Chicago	2009年6月1日
Yoshino T, Nakase H, Matsumura K, Chiba T, et al	Regulation of activate macrophages by FK506 attenuates immune-mediated colitis	Digestive Disease Week and the 110th Annual Meeting of the AGA Institute	Chicago	2009年5月30日
TANAKA Junya, WATANABE Norihiko, KIDO Masahiro, SAGA Kazuyuki, AKAMATSU Takuji, NISHIO Akiyoshi, CHIBA Tsutomu	Human TSLP enhances TLR-ligand-mediated IL-23 production by myeloid dendritic cells and has a potential to induce Th17 inflammatory responses	2007日本免疫学会総会・学術集会	東京	2007年11月20日
KIDO Masahiro, WATANABE Norihiko, TANAKA Junya, AKAMATSU Takuji, NISHIO Akiyoshi, CHIBA Tsutomu	Helicobacter triggers gastric epithelial cells to produce TSLP which induces DC-mediated inflammatory Th2 responses	2007日本免疫学会総会・学術集会	東京	2007年11月20日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Akiyoshi Nishio, Masanori Asada, Keiichi Kiriya, Masahiro Kido, Takuji Akamatsu, Kazuyuki Saga, Junya Tanaka, Norihiko Watanabe, Tsutomu Chiba	Interleukin 10 is essential for prevention of murine autoimmune pancreatitis induced by poly I:C administration	Digestive Disease Week and the 108th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association Institute · poster sessions	Washington DC	2007年5月23日
Hiroshi Kitamura, Hiroshi Nakase, Yasuhiro Takeda, Takuya Yoshino, Katsuhiko Kasahara, Satoru Ueno, Norimitsu Uza, Satoko Inoue, Sakae Mikami, Minoru Matsuura, Yoshihiro Ishida, Kazuhiro Nagata, Tsutomu Chiba	The critical role of heat shock protein 47 in intestinal fibrosis associated with Inflammatory Bowel Diseases	Digestive Disease Week and the 108th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association Institute · oral sessions	Washington DC	2007年5月23日
Tadayuki Kou, Hiroyuki Marusawa, Yoko Endo, Hiroshi Nakase, Shigehiko Fujii, Kazuo Kinoshita, Takahiro Fujimori, Tasuku Honjo, Tsutomu Chiba	Etopic expression of activation-induced cytidine deaminase in ulcerative colitis-associated colorectal cancers	Digestive Disease Week and the 108th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association Institute · poster sessions	Washington DC	2007年5月22日
Takuya Yoshino, Hiroshi Nakase, Satoko Inoue, Hiroshi Kitamura, Satoru Ueno, Norimitsu Uza, Sakae Mikami, Minoru Matsuura, Tsutomu Chiba	The usefulness of quantitative real-time PCR assay for early detection of cytomegalovirus in patients with UC refractory to immunosuppressive therapies	Digestive Disease Week and the 108th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association Institute · poster sessions	Washington DC	2007年5月21日
吉野琢哉、仲瀬裕志、千葉 勉	FK506のA20誘導による活性化マクロファージの制御について	第46回日本消化器免疫学会総会	松山	2009年7月24日
中村文保、渡邊智裕、堀貴美子、三上栄、上田佳秀、仲瀬裕志、千葉 勉	骨髄異形成症候群による腸炎の一例とその分子機序の解析	第46回日本消化器免疫学会総会	松山	2009年7月23日
武田康宏、仲瀬裕志、千葉 勉	粘膜免疫制御の観点からみた Bifidobacterium longum (BB536) のIBDに対する治療機序の解明	第49回日本消化器病学会大会・シンポジウム	神戸	2007年10月18日
渡邊智裕、千葉 勉	NOD2の活性化による腸管免疫の制御機構	第49回日本消化器病学会大会・シンポジウム	神戸	2007年10月18日
吉野琢哉、仲瀬裕志、千葉 勉	炎症性腸疾患に合併するCMV感染の早期診断法の確率にPCRは有用か?	第49回日本消化器病学会大会・ワークショップ	神戸	2007年10月18日
三上 栄、山本修司、仲瀬裕志	難治性潰瘍性大腸炎に対するタクロリムス治療の位置づけ	第87回日本消化器病学会近畿支部例会	大阪	2007年9月8日
吉野 琢哉、仲瀬 裕志、千葉 勉	難治性潰瘍性大腸炎に合併するCMV感染の正確な診断を目指してー内視鏡かPCR法か?ー	第73回日本消化器内視鏡学会総会・パネルディスカッション	東京	2007年5月10日
仲瀬裕志、宇座徳光、千葉 勉	免疫抑制剤投与による難治性クローン病患者に対する長期緩解維持効果	第93回日本消化器病学会総会・パネルディスカッション	青森	2007年4月21日
上野 哲、仲瀬裕志、千葉 勉	Bifidobacterium longum (BB-536) の腸管上皮バリアー機能に対する作用の検討	第93回日本消化器病学会総会・シンポジウム	青森	2007年4月19日
吉野琢哉、仲瀬裕志、千葉 勉	難治性潰瘍性大腸炎におけるサイトメガロウイルス感染 早期診断のためのreal-timePCR法の有用性について	第104回日本内科学会講演会・一般演題ポスターセッション	大阪	2007年4月3日
横山純二、青柳 豊、味岡洋一	潰瘍性大腸炎関連腫瘍の内視鏡像の検討ーサーベイランスにおける内視鏡検査の有用性と問題点	第78回日本消化器内視鏡学会総会	京都	2009年10月15日
味岡洋一	Colitic cancer の病理	日本消化器内視鏡学会第24回重点卒後教育セミナー	東京	2008年9月23日
Watanabe T, Matsumoto T, Watanabe M, Hibi T	For the establishment of surveillance of colitic cancer	3rd Japan-Korea IBD Symposium 'Highlight of IBD in Asia: From Research to Clinic'	Seoul	2008年9月20日
Watanabe T	Preoperative chemoradiotherapy for lower rectal cancer	3rd Colorectal Disease Symposium in Tokyo	Tokyo	2008年6月21日
Konishi T, Watanabe T, Kishimoto J, Kotake K, Muto T, Nagawa H	Prognosis and metastatic potential of colorectal carcinoids compared with adenocarcinomas: Results of nationwide registry over 15 years	44th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology	Chicago	2008年6月2日
Kamikozuru, K., Fukunaga, K., Yokoyama, Y., Miwa, H. and Matsumoto, T	The significance of monitoring peripheral CD4+ T-cells expressing regulatory CD25 ^{High} and the immune-deficiency CD4+ T-cells lacking CD28 in patients with crohn's disease under infliximab therapy	GASTRO 2009 (UEGW/WCOG)	London	2009年11月24日
Hida, N., Hori, K., Fukunaga, K., Ohda, Y., Iimuro, M., Yoshida, K., Yokoyama, Y., Kamikozuru, K., Nakamura, S. and Matsumoto, T	A clinical follow-up study of three subtypes of dysplasia-associated lesions or masses in Japanese patients with chronic ulcerative colitis	GASTRO 2009 (UEGW/WCOG)	London	2009年11月24日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Ogata, M., Ito, H., Motoya, S., Takazoe, M., Suzuki, S., <u>Matsumoto, T.</u> , Hirata, I., Matsui, T., and Hibi, T	Certolizumab pegol is effective at inducing and maintaining response and remission in Japanese patients with crohn' s disease:Results from induction and maintenance studies	GASTRO 2009 (UEGW/WCOG)	London	2009年11月23日
Yokoyama, Y., Fukunaga, K., Kamikozuru, K., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	Expression of CD25highCD4+ T cells (treg) and CD28-CD4+ T cells in ulcerative colitis after surgery	GASTRO 2009 (UEGW/WCOG)	London	2009年11月23日
Takazoe, M., Watanabe, M, Kawaguchi, T., <u>Matsumoto, T.</u> , Oshitani, N., Matsui, T., Hiwatashi. N. and Hibi, T	A randomized, double-blind, placebo-controlled trial of oral alpha-4 integrin inhibitor (AJM300) in patients with active crohn' s disease	GASTRO 2009 (UEGW/WCOG)	London	2009年11月23日
Yokoyama, Y., Fukunaga, K., Ikeuchi, H., Kamikozuru, K., Nakamura, S., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	The expression of CD25highCD4+ T-cells and CD28-CD4+ T-cells in ulcerative colitis	14th International congress of mucosal immunology (ICMI2009)	Boston	2009年7月9日
Fukunaga, K	Activated blood cells' removal as a potential marker to predict clinical efficiency of Leukocytapheresis for IBD patient. (Symposium)	12th World Apheresis Asociation and 7th International Society for Apheresis Congress	Buenos Aires	2009年3月19日
<u>Matsumoto, T</u>	Leukocytapheresis as a therapeutic option for intractable inflammatory bowel disease. (Symposium)	12th World Apheresis Asociation and 7th International Society for Apheresis Congress	Buenos Aires	2009年3月18日
Kamikozuru, K., Fukunaga, K., Hirota, S., Yokoyama, Y., Ohda, Y., Hida, N., Nakamura, S., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	In patients with active ulcerative colitis, selective depletion of granulocytes and monocytes by extracorporeal adsorption impacts peripheral and mucosal level of CD4+ regulatory T-cells	The 16th United European Gastroenterology Week (UEGW2008)	Wien	2008年10月22日
Yokoyama, Y., Fukunaga, K., Kamikozuru, K., Nakamura, S., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	Demonstration of low CD25 high+CD4+ and highCD28-CD4+ T-cell subsets in patients with ulcerative colitis	The 16th United European Gastroenterology Week (UEGW2008)	Wien	2008年10月22日
Ogata, H., Kato, J., Hirai, F., Hida, N., Matsui, T., <u>Matsumoto, T</u> and Hibi, T	Oral administration of tacrolimus (FK506) enhances mucosal healing in refractory, moderate/severe ulcerative colitis	The 16th United European Gastroenterology Week (UEGW2008)	Wien	2008年10月21日
Fukunaga, K., Yoshida, K., Kamikozuru, K., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	Expression of the peripheral CD25high+CD4+ regulatory T-cells define the immunological characteristics of IBD	The 16th United European Gastroenterology Week (UEGW2008)	Wien	2008年10月20日
Watanabe, T., <u>Matsumoto, T.</u> , Mawatabe, M. and Hibi, T.	For the establishment of surveillance of colitic cancer	The 3rd Japan-Korea IBD symposium	Seoul	2008年9月20日
Chohn, T., Ikeuchi, H., Uchino, M., Nakamura, M., Matsuoka, H., Tomita, N., Hori, K., Nakamura, S. and <u>Matsumoto, T</u>	Diffuse gastroduodenitis and pouchitis associated with ulcerative colitis	The 3rd Japan-Korea IBD symposium	Seoul	2008年9月20日
Kamikozuru, K., Fukunaga, K., Yokoyama, Y., Nakamura, S. and <u>Matsumoto, T</u>	Can we expect the recuperation of the UC patients by the investigating the regulatory T-cells?	The 3rd Japan-Korea IBD symposium	Seoul	2008年9月20日
Yokoyama, Y., Fukunaga, K., Ikeuchi, H., Kamikozuru, K., Tozawa, K., Uchino, M., Yoshida, K., Hida, N., Nakamura, S., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	The Expression of CD25highCD4+ T-cells and CD28-CD4+ T-cells in ulcerative colitis	The 3rd Japan-Korea IBD symposium	Seoul	2008年9月20日
Kawai, M., Fukunaga, K., Yokoyama, Y., Yoshida, K., Hida, N., Kamikozuru, K., Tozawa, K., Nakamura, S., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	Infliximab is effective for acute massive lower gastrointestinal bleeding in crhon' s disease	The 3rd Japan-Korea IBD symposium	Seoul	2008年9月20日
<u>Matsumoto, T.</u> , Fukunaga, K., Kamikozuru, K., Tozawa, K., Yokoyama, Y., Kusaka, T., Ohnishi, K., Miwa, H. and Nakamura, S	Cytapheresis as a nonpharmacological therapy for inflammatory bowel disease. (Panel discussion)	Joint annual congress of the German society for transfusion medicine and immunohaematology (DGTI) and the interdisciplinary European society for haemapheresis and a haemotherapy (ESFH) in cooperation with the societe Francaise de transfusion sanguine (SFTS)	Dusseldorf	2008年9月19日
Fukunaga, K	Ulserative colitis-AP consensus (Symposium)	Asia pacific digestive week (APDW2008)	New Delhi	2008年9月16日
Okamoto, S., Inoue, N., Hisamatsu, T., Ogata, H., Suzuki, Y., <u>Matsumoto, T.</u> and Hibi, T	A lecithinized superoxide desmutase (PC-SOD) improves ulcerative colitis	Digestive Disease Week and the 109th Annual Meeting of the AGA Institute (DDW2008)	San Diego	2008年5月21日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Fukunaga, K., Ohnishi, K., Hida, N., Ohda, Y., Tozawa, K., Kamikozuru, K., Nagase, K., Nakamura, S., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	Aprospective follow-up study to assess the long-term efficacy of leukocytapheresis in patients with steroid refractory ulcerative colitis	Digestive Disease Week and the 109th Annual Meeting of the AGA Institute (DDW2008)	San Diego	2008年5月21日
Hida, N., Watanabe, K., Oshitani, N., Arakawa, T. and <u>Matsumoto, T</u>	Fluorescence endoscopy for further workup of neoplastic lesions in ulcerative colitis using local 5-aminolaevulinic acid-induced photosensitization	Digestive Disease Week and the 109th Annual Meeting of the AGA Institute (DDW2008)	San Diego	2008年5月20日
<u>Matsumoto, T</u>	Colitic cancer based on IBD and its surveillance	The 2nd Korea-Japan IBD Symposium	Tokyo	2007年12月1日
Fukunaga, K., Ohnishi, K., Kusaka, T., Hida, N., Ohda, Y., Yoshida, K., Tozawa, K., Kamikozuru, K., Jinno, Y., Nakamura, S., and <u>Matsumoto, T</u>	Long-term prognosis of Leulpcytapheresis for active ulcerative colitis patients	The 2nd Korea-Japan IBD Symposium	Tokyo	2007年12月1日
Ikeuchi, H., Nakano, H., Uchino, M., Nakamura, M., Matsuoka, H., Fukuda, Y., <u>Matsumoto, T.</u> , Takasue, Y. and Tomita, N	Intestinal cancer in Crohn' s disease	The 2nd Korea-Japan IBD Symposium	Tokyo	2007年12月1日
Uchino, M., Ikeuchi, H., Nakano, H., Nakamura, M., Matsuoka, H., Takasue, Y., Fukuda, Y., Tomita, N., Hida, N., Nakamura, S., <u>Matsumoto, T.</u> and Tomita, N	Usefulness of FDG-PET for Crohn' s disease	The 2nd Korea-Japan IBD Symposium	Tokyo	2007年12月1日
Kamikoduru, K., Fukunaga, K., Yokoyama, Y., Tozawa, K., Hida, N., Ohda, Y., Ohnishi, K., Kusaka, T., Nakamura, S., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	Systemic and local regulatory T-cell expressions reflect active immunomodulation induced during the adsorptive granulocyte and monocyte apheresis for refractory ulcerative colitis patients	15th United European Gastroenterology Week (UEGW2007)	Paris	2007年10月29日
Fukunaga, K., Kamikozuru, K., Tozawa, K., Hida, N., Ohda, Y., Ohnishi, K., Kusaka, T., Nakamura, S. and <u>Matsumoto, T</u>	Opposite changes in expressions of CD4+ T-cells during LCAP and GCAP for active ulcerative colitis patient refractory to conventional therapies	Asian Pacific Digestive Week 2007	Kobe	2007年10月17日
Tozawa, T., Fukunaga, K., Kamikozuru, K., Yokoyama, Y., Ohda, Y., Hida, N., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	Hyperthermic modulation amplifies the immunological efficiency of granulocyte/monocyte apheresis	13th International Congress of Mucosal Immunology	Tokyo	2007年7月11日
Fukunaga, K., Kamikozuru, K., Yokoyama, Y., Tozawa, T., Ohda, Y., Hida, N., Ohnishi, K., Kusaka, T., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	The opposite changes in expressions of CD4+ T-cells during LCAP and GCAP for ulcerative colitis patient refractory to conventional therapies	13th International Congress of Mucosal Immunology	Tokyo	2007年7月11日
Kamikozuru, K., Fukunaga, K., Yokoyama, Y., Tozawa, T., Hida, N., Ohda, Y., Ohnishi, K., Kusaka, T., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	Peripheral and local transitions of the regulatory T-cell expression during the filtration leukocyte apheresis performed for active ulcerative colitis patients	13th International Congress of Mucosal Immunology	Tokyo	2007年7月11日
Kamikoduru, K., Fukunaga, K., Yokoyama, Y., Nagase, K., Tozawa, K., Ohda, Y., Hida, N., Fukuda, Y., Miwa, H. and <u>Matsumoto, T</u>	The opposite changes in expressions of CD4+ T-cells during LCAP and GCAP for active ulcerative colitis patient refractory to conventional therapies	Digestive Disease Week and the 108th Annual Meeting of the AGA Institute (DDW2007)	Washington DC	2007年5月22日
<u>Matsumoto, T.</u> , Fukunaga, K., Andoh, A., Okawa, K., Ito, H., Torii, A., Yoshikawa, S., Nakaoka, R., Okuyama, Y., Watanabe, K., Nishishita, M., Fujiyama, Y. and Kinki IBD Study Group	Analysis of predicting factors of leukocytapheresis to patients with intractable moderate to severe ulcerative colitis - Amulticenter prospective open label study	Falk Symposium 159 IBD 2007	Turkey	2007年5月4日
松本譽之	潰瘍性大腸炎・クローン病 (教育講演)	第23回日本消化器内視鏡学会近畿セミナー	大阪	2009年12月13日
河野友彰, 吉田幸治, 中村志郎, 松本譽之	Crohn病の小腸病変に対するバルーン拡張術の有用性 (シンポジウム)	第47回小腸研究会	福岡	2009年11月14日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 蝶野晃弘, 竹末芳生, 富田尚裕, 松本譽之	潰瘍性大腸炎手術症例の長期予後 (パネルディスカッション)	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
池内浩基, 内野 基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 蝶野晃弘, 富田尚裕, 竹末芳生, 福田能啓, 松本譽之	クローン病の手術適応とタイミング (ワークショップ)	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
内野 基, 池内浩基, 蝶野晃弘, 松岡宏樹, 松本譽之, 竹末芳生, 富田尚裕	クローン病肛門病変に対する術後 Infliximab投与の効果 (ワークショップ)	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
佐々木寛文, 内野 基, 松岡宏樹, 池内浩基, 松本譽之, 竹末芳生, 富田尚裕	手術前に壞疽膿皮症を合併した潰瘍性大腸炎の1例	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
飯室正樹, 河合幹夫, 河野友彰, 上小鶴孝二, 吉田幸治, 應田義雄, 樋田信幸, 樋田信幸, 中村志郎, 松本譽之	ベーチェット病, 単純性潰瘍5症例に対するインフリキシマブ治療経験	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
蝶野晃弘, 内野 基, 松岡宏樹, 池内浩基, 松本譽之, 竹末芳生, 富田尚裕	痔瘻発症後17年, 人工肛門造設後5年で痔瘻瘻を合併したクローン病の1例	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
池内浩基, 内野 基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 蝶野晃弘, 竹末芳生, 富田尚裕, 松本譽之	潰瘍性大腸炎の術前内科治療の変遷と術式の選択 (シンポジウム)	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 蝶野晃弘, 松本譽之, 竹末芳生, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎, 大腸全摘, 直腸粘膜切除, J型回腸囊肛門吻合術における小開腹手術 (ビデオシンポジウム)	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日
松岡宏樹, 内野 基, 平田晃弘, 池内浩基, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	回腸膀胱瘻の長期間放置により発癌したクローン病の1例	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日
賀来佳子, 内野 基, 松岡宏樹, 池内浩基, 松本譽之, 竹末芳生, 富田尚裕	術直後にPosterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) を併発した小児潰瘍性大腸炎の1手術例	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日
松本譽之	クローン病の臨床病態と素因—肉芽腫性疾患としての意義 (特別講演)	第29回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会	宇都宮	2009年10月21日
横山陽子, 福永 健, 池内浩基, 上小鶴孝二, 應田義雄, 樋田信幸, 中村志郎, 三輪洋人, 松本譽之	潰瘍性大腸炎における末梢血T細胞の存在と役割について	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月16日
松本譽之	5-ASA製剤がもたらしたもの 潰瘍性大腸炎に対する効果と臨床的意義 (ブレイクファーストセミナー)	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月15日
樋田信幸, 堀 和敏, 松本譽之	潰瘍性大腸炎合併腫瘍性病変の取り扱いと経過 (シンポジウム)	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月15日
應田義雄, 西上隆之, 松本譽之	腸結核による慢性炎症から発生したと考えられる早期大腸癌の検討— (UCを背景とするdysplasiaとの比較) (パネルディスカッション)	第83回日本消化器内視鏡学会近畿地方会	京都	2009年9月19日
福永 健, 福田能啓, 松本譽之	難治性急性期クローン病に対するアフェレンシス治療の可能性 (ワークショップ)	第30回日本アフェレンシス学会学術大会	札幌	2009年9月12日
長瀬和子, 福永 健, 横山陽子, 上小鶴孝二, 加藤恭一, 松本譽之	血小板からみたLCAP処理量の検討	第30回日本アフェレンシス学会学術大会	札幌	2009年9月12日
横山陽子, 福永 健, 上小鶴孝二, 松本譽之	高齢者における八卦急系細胞除去療法 (CAP:Leukocyapheresis) : 最適年齢を明らかにする (シンポジウム)	第30回日本アフェレンシス学会学術大会	札幌	2009年9月10日
松本譽之	炎症性腸疾患の最近の治療と今後の展望 (教育講演)	平成21年度日本内科学会生涯教育講演会Aセッション	仙台	2009年9月6日
横山陽子, 福永 健, 池内浩基, 上小鶴孝二, 加藤恭一, 應田義雄, 樋田信幸, 松本譽之	潰瘍性大腸炎におけるT細胞の存在と役割について (シンポジウム)	第46回日本消化器免疫学会総会	松山	2009年7月23日
福永 健	アダカラムを用いた難治性クローン病患者に対する新しい治療戦略 (ランチョンセミナー)	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月9日
樋田信幸, 堀 和敏, 松本譽之	潰瘍性大腸炎に発生したdysplasiaの追跡研究	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月9日
松本譽之	インフリキシマブ治療導入によりクローン病の臨床はどの様に変化したか? 兵庫医大における経時的変動から考察 (ランチョンセミナー)	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月8日
吉田幸治, 松本譽之, 中村志郎	Crohn病の小腸病変に対する内視鏡的バルーン拡張術の有効性 (パネルディスカッション)	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月8日
福永 健, 松本譽之	難治性直腸炎型潰瘍性大腸炎に対する漢方坐薬の臨床効果: EBMに目指した漢方治療を目指して (パネルディスカッション)	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7日
上小鶴孝二, 福永 健, 松本譽之, 三輪洋人	潰瘍性大腸炎患者に対して施行した顆粒球吸着療法により変動する末梢血調節性T細胞の検討	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7日
福永 健, 日下 剛, 樋田信幸, 吉田幸治, 横山陽子, 戸澤勝之, 上小鶴孝二, 中村志郎, 三輪洋人, 松本譽之	難治性クローン病患者の新しい長期維持療法のストラテジー: GCAPによるinfliximab効果不十分例に対する橋渡し治療 (ワークショップ)	第5回日本消化管学会総会学術集会	東京	2009年2月12日
池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 富田尚裕, 福田能啓, 松本譽之	クローン病症例のインフリキシマブ, バルーン拡張術を加えた病態別の治療方針 (ワークショップ)	第5回日本消化管学会総会学術集会	東京	2009年2月12日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 中村光宏, 平田晃弘, 松本譽之, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎における内科的治療と外科手術適応の変遷—緊急手術, 死亡症例を中心に— (ワークショップ)	第5回日本消化管学会総会学術集会	東京	2009年2月12日
上小鶴孝二, 福永 健, 加藤恭一, 戸澤勝之, 横山陽子, 中村志郎, 三輪洋人, 松本譽之	免疫制御性T細胞に注目した潰瘍性大腸炎患者の病態と予後の相関	第5回日本消化管学会総会学術集会	東京	2009年2月12日
加藤恭一, 福永 健, 上小鶴孝二, 戸澤勝之, 横山陽子, 吉田幸治, 應田義雄, 中村志郎, 三輪洋人, 松本譽之	出血型クローン患者におけるインフリキシマブの早期効果	第5回日本消化管学会総会学術集会	東京	2009年2月12日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
松本譽之	IBDの治療における内視鏡の意義—Mucosal healing—をめぐって(ランチョンセミナー)	第20回日本消化器内視鏡学会東北セミナー	盛岡	2009年1月18日
樋田信幸, 渡辺憲治, 味岡洋一, 堀和敏, 押谷伸英, 中村志郎, 荒川哲男, 松本譽之	潰瘍性大腸炎関連腫瘍に対する光線力学的診断法の有用性の検討—invisible flat dysplasiaの視認に向けて—(パネルディスカッション)	第26回日本大腸検査学会総会	東京	2008年11月30日
福永 健, 横山陽子, 戸澤勝之, 上小鶴孝二, 長瀬和子, 松本譽之	潰瘍性大腸炎からの大腸癌発生対策としてのアフレルシス(シンポジウム)	第29回日本アフレルシス学会学術大会	広島	2008年11月23日
加藤恭一, 福永 健, 上小鶴孝二, 戸澤勝之, 横山陽子, 中村志郎, 松本譽之	分類不能型腸炎に対して白血球除去療法を施行した一例	第29回日本アフレルシス学会学術大会	広島	2008年11月23日
横山陽子, 福永 健, 上小鶴孝二, 加藤恭一, 長瀬和子, 松本譽之	Cytomegalovirus感染を合併した潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法の検討	第29回日本アフレルシス学会学術大会	広島	2008年11月23日
長瀬和子, 福永 健, 日下 剛, 横山陽子, 上小鶴孝二, 大西国夫, 松本譽之	外部環境の変化と潰瘍性大腸炎との関わり—当科での血球成分除去療法の実施状況から	第29回日本アフレルシス学会学術大会	広島	2008年11月23日
戸澤勝之, 福永 健, 上小鶴孝二, 加藤恭一, 横山陽子, 日下 剛, 長瀬和子, 松本譽之	DSS腸炎ラットも出るにおける顆粒球除去療法の効果の検討—温熱療法を加味した場合, 熱蛋白の発現は増すか?	第29回日本アフレルシス学会学術大会	広島	2008年11月23日
上小鶴孝二, 福永 健, 加藤恭一, 戸澤勝之, 横山陽子, 長瀬和子, 中村志郎, 松本譽之	顆粒球吸着療法により変動する末梢血調節性T細胞の検討(シンポジウム)	第29回日本アフレルシス学会学術大会	広島	2008年11月22日
松本譽之	炎症性腸疾患の治療選択(教育講演)	第20回日本消化器病学会甲信越支部教育講演会	新潟	2008年11月5日
林 慶紀, 戸澤勝之, 應田義雄, 上小鶴孝二, 吉田幸治, 野上晃司, 河合幹夫, 福永 健, 樋田信幸, 中村志郎, 松本譽之	長期経過により長大化したCMSEPの1症例	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月18日
池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 竹末芳生, 福田能啓, 富田寿彦, 中村志郎, 松本譽之, 富田尚裕	クローン病の手術適応からみた治療方針と今後の課題	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17日
内野 基, 池内浩基, 平田晃弘, 松岡宏樹, 大嶋 勉, 中村光宏, 中埜廣樹, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	Colitic cancer手術症例の検討	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17日
池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 竹末芳生, 福田能啓, 富田寿彦, 中村志郎, 松本譽之, 富田尚裕	術後に潰瘍性大腸炎からクローン病に病名変更となった症例の予後と今後の課題	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17日
平田晃弘, 内野 基, 松岡宏樹, 大嶋 勉, 中村光宏, 中埜廣樹, 池内浩基, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	回腸直腸吻合術後17年で残存直腸癌を合併した潰瘍性大腸炎の1例	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17日
松本譽之	内視鏡から見たクローン病の治療戦略—インフリキシマブ治療の位置付け(ブラックファーストセミナー)	第50回日本消化器病学会大会	東京	2008年10月3日
松本譽之	QOL向上を目指したIBD治療の現状と近未来(ランチョンセミナー)	第50回日本消化器病学会大会	東京	2008年10月2日
松本譽之	クローン病ガイドライン(案)の概要(シンポジウム)	第50回日本消化器病学会大会	東京	2008年10月1日
吉田幸治, 富田寿彦, 中村志郎	クローン病大量出血例に対するinfliximabの有用性に関する臨床的検討(シンポジウム)	日本消化器病学会近畿支部第89回例会	大阪	2008年9月27日
河合幹夫, 林 慶紀, 野上晃司, 上小鶴孝二, 川 浩介, 横山陽子, 戸澤勝之, 吉田幸治, 日下 剛, 飯室正樹, 應田義雄, 福永 健, 樋田信幸, 堀 和敏, 中村志郎, 三輪洋人, 松本譽之	インフリキシマブ治療導入直後に脊髄硬膜外腫瘍を合併したクローン病の1例	日本消化器病学会近畿支部第89回例会	大阪	2008年9月27日
山崎尊久, 富田寿彦, 奥川卓也, 岡本聡子, 林千鶴子, 田中淳二, 櫻井淳, 金 鋪民, 堀 和敏, 豊島史彦, 大島忠之, 松本譽之, 三輪洋人	Infliximabが有効であったクローン病の広範囲上部消化管病変の一例	第81回日本消化器内視鏡学会近畿地方会	大阪	2008年9月20日
野上晃司, 應田義雄, 林 慶紀, 山本清子, 河合幹夫, 川 浩介, 日下剛, 中村志郎, 三輪洋人, 松本譽之	ダブルバルーン内視鏡(DBE)下小腸造影で狭窄部位を証明しえた腸回転異常症術後癒着性腸閉塞の1例	第186回日本内科学会近畿地方会	京都	2008年9月3日
福永 健, 吉田幸治, 上小鶴孝二, 中村志郎, 松本譽之	免疫制御性T細胞に着目したIBD患者における末梢免疫システム異常:病態解明と早期治療効果予測は可能か?(シンポジウム)	第45回日本消化器免疫学会総会	京都	2008年7月3日
上小鶴孝二, 福永 健, 中村志郎, 松本譽之	顆粒球吸着療法の免疫制御能に注目した潰瘍性大腸炎患者の病態と予後の相関(ミニシンポジウム)	第45回日本消化器免疫学会総会	京都	2008年7月3日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
福永 健, 堀 和敏, 中村志郎, 三輪洋人, 松本譽之	潰瘍性大腸炎患者における末梢血・腸管粘膜免疫制御性T細胞発現の経時的・治療的变化とHelicobacter pylori感染(シンポジウム)	第14回日本ヘリコバクター学会	神戸	2008年6月27日
松本譽之	クローン病への新たな試み(ランチョンセミナー)	第75回日本消化器内視鏡学会総会	横浜	2008年5月24日
松本譽之	クローン病の内科的治療(教育講演)	日本大腸肛門病学会第17回教育セミナー	東京	2008年5月18日
中村志郎, 神野良男, 松本譽之	クローン病大量出血例に関する臨床的検討(シンポジウム)	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月10日
松本譽之	IBD治療戦略におけるLCAPの位置付け〜治療標準化に向けて〜(ランチョンセミナー)	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月9日
福永 健, 戸澤勝之, 上小鶴孝二, 樋田信幸, 大西国夫, 應田義雄, 日下 剛, 吉田幸治, 長瀬和子, 中村志郎, 三輪洋人, 松本譽之	クローン病患者における末梢血血小板の果たす役割: 選択的血小板除去による検討	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月9日
戸澤勝之, 福永 健, 樋田信幸, 大西国夫, 應田義雄, 日下 剛, 吉田幸治, 上小鶴孝二, 長瀬和子, 中村志郎, 三輪洋人, 松本譽之	ステロイド抵抗性急性期潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法の長期予後	第4回日本消化管学会総会学術集会	大阪国際会議場(大阪)	2008年2月8日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 大嶋 勉, 塚本 潔, 中村光宏, 中埜廣樹, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	Back wash ileitisを合併した潰瘍性大腸炎の3例	第4回日本消化管学会総会学術集会	大阪国際会議場(大阪)	2008年2月8日
上小鶴孝二, 戸澤勝之, 應田義雄, 福永 健, 廣田誠一, 三輪洋人, 松本譽之	白血球除去療法施行中の重症潰瘍性大腸炎患者における末梢血と体調粘膜組織における調節性T細胞の変遷	第4回日本消化管学会総会学術集会	大阪国際会議場(大阪)	2008年2月8日
吉田幸治, 福永 健, 上小鶴孝二, 樋田信幸, 大西国夫, 應田義雄, 富田寿彦, 日下 剛, 戸澤勝之, 神野良男, 中村志郎, 三輪洋人, 松本譽之	末梢血免疫制御性T細胞に着目した急性期クローン病患者に対する抗TNF- α 療法の免疫機能改善効果: 早期予後予測を目指して	第4回日本消化管学会総会学術集会	大阪国際会議場(大阪)	2008年2月7日
中村光宏, 池内浩基, 内野 基, 中埜廣樹, 野田雅史, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	長期生存しているクローン病に合併した進行直腸癌の1例	第4回日本消化管学会総会学術集会	大阪国際会議場(大阪)	2008年2月7日
樋田信幸	潰瘍性大腸炎関連腫瘍性病変の内視鏡診断	第16回日本消化器内視鏡学会北陸セミナー	ITビジネスプラザ武蔵(金沢)	2008年1月27日
岡本聡子, 富田寿彦, 近藤 隆, 吉田幸治, 大島忠之, 小坂 正, 堀和敏, 福田能啓, 松本譽之, 三輪洋人	クローン病に合併した回腸癌の1例	第184回日本内科学会近畿地方会	芝欄会館(京都)	2007年12月1日
福永 健, 横山陽子, 大西国夫, 日下 剛, 戸澤勝之, 上小鶴孝二, 長瀬和子, 松本譽之	アフェレシスによる難治性クローン患者に対する新しい治療アプローチ: 選択的血小板除去療法	第28回日本アフェレシス学会学術大会	ルネッサンス創世(久留米)	2007年11月18日
松本譽之	炎症性腸疾患と発癌	日本内科学会学術集会第35回内科学の展望	ポートピアホテル(神戸)	2007年11月18日
上小鶴孝二, 福永 健, 戸澤勝之, 松本譽之	白血球除去療法施行中の重症潰瘍性大腸炎患者における末梢血と大腸粘膜組織における調節性T細胞の変遷	第28回日本アフェレシス学会学術大会	ルネッサンス創世(久留米)	2007年11月17日
長瀬和子, 福永 健, 大西国夫, 日下 剛, 戸澤勝之, 上小鶴孝二, 松本譽之	血球成分除去療法を実施した潰瘍性大腸炎患者の長期予後に関する報告	第28回日本アフェレシス学会学術大会	ルネッサンス創世(久留米)	2007年11月17日
中村志郎, 神野良男, 大西国夫, 日下 剛, 吉田幸治, 福永 健, 樋田信幸, 三輪洋人, 松本譽之	クローン病大量出血に関する臨床的検討	第45回小腸研究会	東京ステーションコンファレンス(東京)	2007年11月10日
福永 健, 樋田信幸, 應田義雄, 吉田幸治, 大西国夫, 神野良男, 日下 剛, 中村志郎, 大島忠之, 三輪洋人, 松本譽之	潰瘍性大腸炎患者における脳波: 腸脳相関に着目した病態理解・病勢評価へのアプローチ	第6回日本Neurogastroenterology(神経消化器病)学会	梅田スカイビル(大阪)	2007年11月3日
福永 健, 藤山佳秀, 押谷伸英, 松本譽之	中等症〜重症の難治性UCに対する白血球の効果予測に関する検討〜多施設前向き研究の結果から〜	第62回日本大腸肛門病学会学術集会	高輪プリンスホテル(東京)	2007年11月2日
戸澤勝之, 應田義雄, 樋田信幸, 吉田幸治, 上小鶴孝二, 日下 剛, 福永 健, 大西国夫, 松本譽之	腹腔鏡下S状結腸癌切除術後の吻合部に生じた良性出血性肉芽に対して内視鏡的治療でコントロールしえた一例	第62回日本大腸肛門病学会学術集会	高輪プリンスホテル(東京)	2007年11月2日
吉田幸治, 富田寿彦, 松本譽之	クローン病におけるInfliximabのTop-Down療法とStep-Up療法の比較.	第74回日本消化器内視鏡学会総会	ポートピアホテル(神戸)	2007年10月19日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
戸澤勝之, 福永 健, 上小鶴孝二, 横山陽子, 應田義雄, 樋田信幸, 日下 剛, 大西国夫, 三輪洋人, 松本譽之	顆粒球吸着療法に温熱効果を加えることによる免疫修飾の変化に関する検討.	第49回日本消化器病学会大会	神戸国際展示場(神戸)	2007年10月19日
上小鶴孝二, 福永 健, 横山陽子, 戸澤勝之, 日下 剛, 大西国夫, 三輪洋人, 松本譽之	免疫制御性T細胞の推移からみた急性期潰瘍性大腸炎患者におけるLCAPとGCAPの作用機序に関する検討.	第49回日本消化器病学会大会	神戸国際展示場(神戸)	2007年10月19日
大西国夫, 日下 剛, 福永 健, 松本譽之	難治性潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去療法について.	第25回日本大腸検査学会総会	江戸川総合区民ホール(東京)	2007年9月9日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 竹末芳生, 富田尚裕, 松本譽之	潰瘍性大腸炎術後の周術期合併症と長期予後.	第25回日本大腸検査学会総会	江戸川総合区民ホール(東京)	2007年9月9日
野上晃司, 吉田幸治, 應田義雄, 樋田信幸, 三輪洋人, 松本譽之	初発クローン病の食道打ち抜き潰瘍にInfliximabが有効であった1例.	第87回日本消化器病学会近畿支部例会	大阪国際交流センター(大阪)	2007年9月8日
中村志郎, 神野良男, 松本譽之	クローン病大量出血例に関する臨床的検討.	第87回日本消化器病学会近畿支部例会	大阪国際交流センター(大阪)	2007年9月8日
中村志郎, 渡辺芳久, 神野良男, 樋田信幸, 福永 健, 松本譽之	高齢者の下部消化管出血性疾患に関する臨床的検討.	第25回日本大腸検査学会総会	江戸川総合区民ホール(東京)	2007年9月8日
吉田幸治, 戸澤勝之, 上小鶴孝二, 松本譽之	クローン病におけるInfliximabのTop-Down療法とStep-Up療法の比較.	第25回日本大腸検査学会総会	江戸川総合区民ホール(東京)	2007年9月8日
蝶野晃弘, 中村志郎, 神野良男, 日下 剛, 大西国夫, 福永 健, 樋田信幸, 福田能啓, 三輪洋人, 松本譽之	出血性ショックにレミケードが奏効したクローン病の1例.	第183回日本内科学会近畿地方会	神戸国際会議場(神戸)	2007年9月1日
横山陽子, 福永 健, 戸澤勝之, 上小鶴孝二, 長瀬和子, 松本譽之	潰瘍性大腸炎患者の末梢血Regulatory CD25HighCD4+Tcellに対するPrednisoloneの及ぼす影響.	第44回日本消化器免疫学会総会	品川プリンスホテル(東京)	2007年7月9日
松本譽之, 中村志郎, 神野良男, 大谷明夫, 名倉 宏	炎症性腸疾患の病態における粘膜リンパ系の応答の意義.	第31回日本リンパ学会総会	良陵会館(仙台)	2007年6月9日
松本譽之	生物学的製剤治療における内視鏡の意義.	第73回日本消化器内視鏡学会総会	グラントプリンスホテル新高輪(東京)	2007年5月9日
池内浩基, 内野 基, 松本譽之	潰瘍性大腸炎患者における術前血球成分除去療法が術後合併症に与える影響.	第93回日本消化器病学会総会	青森市文化会館(青森)	2007年4月21日
福永 健, 横山陽子, 松本譽之	潰瘍性大腸炎患者に対する血球成分除去療法の次世代戦略:「早期効果予測」による治療精度と患者QOLの向上を目指して.	第93回日本消化器病学会総会	青森市文化会館(青森)	2007年4月21日
富田寿彦, 近藤 隆, 吉田幸治, 田中淳二, 林千鶴子, 金 鋪民, 森田毅, 大島忠之, 小坂 正, 堀 和敏, 福田能啓, 松本譽之, 三輪洋人, 中村光宏, 内野 基, 中埜廣樹, 池内浩基, 山村武平	当院におけるクローン病の癌化症例.	第93回日本消化器病学会総会	青森市文化会館(青森)	2007年4月20日
Akiea Sugita	Postoperative recurrence in Crohn's disease-Is it possible to prevent?	3rd Colorectal Disease Symposium in Tokyo	Tokyo	2008年6月21日
Akira Sugita	Surgery for Crohn's Disease	41th Korean Society of Coloproctology	Korea	2008年4月4-6日
A. Sugita, K. Koganei, H. Kimura, K. Yamada, F. Kitoh, T. Fukushima	The efficacy of functional end to end anastomosis for prevention of postoperative in Crohn's disease recurrence	UEGW PARIS 2007 15th United European Gastroenterology Week	Paris	2007年10月27-31日
Akira Sugita, Kazutka Koganei, Hideaki Kimura, Kyoko Yamada, Fumihiko Kito, Tsuneo Fukusima	One Stage Stapled Ileal Pouch Anal Anastomosis with Double Stapling Technique for Ulcerative Colitis — The Indication and Postoperative Clinical Course—	11th Congress of Asian Federation of Coloproctology	東京	2007年9月20-22日
Kazutaka Koganei, Hideaki Kimura, Akira Sugita, Kyoko Yamada, Ryo Ftutatsuki, Fumihiko Kito, Tsuneo Fukushima	Efficacy of Fecal Divison for Intractable Anorectal Crohn's Disease	11th Congress of Asian Federation of Coloproctology	東京	2007年9月20-22日
Akira Sugita, M.D., Kazutaka Koganei M.D., Hideaki Kimura M.D.	Anorectal disease with Crohn's disease	2nd Colorectal Disease Symposium in Tokyo	東京	2007年6月16日
中尾紗由美, 小金井一隆, 黒木博介, 中川和也, 山田恭子, 杉田昭, 鬼頭文彦	回腸肛門管癒を合併したクローン病の1例	第307回日本消化器病学会関東支部例会	東京	2009年12月5日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
中川和也、小金井一隆、黒木博介、杉田 昭、鬼頭文彦	大腸全摘、回腸囊肛門吻合術が可能であった壊死性筋膜炎を合併した潰瘍性大腸炎の1例	第71回日本臨床外科学会総会	京都	2009年11月19-21日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明、鬼頭文彦、福島恒男	クローン病の直腸肛門部病変に対する直腸切断術	第71回日本臨床外科学会総会	京都	2009年11月19-21日
木村英明、国崎玲子、小金井一隆、杉田 昭、福島恒男	体外式超音波検査によるクローン病小腸病変の治療戦略	第71回日本臨床外科学会総会	京都	2009年11月19-21日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、鬼頭文彦、福島恒男	Crohn病に対する外科治療の現状からみた今後の対策—手術適応、時期、術後再発、瘻治療について—	第64回日本大腸肛門病学会総会	福岡	2009年11月6-7日
木村英明、杉田 昭、小金井一隆、福島恒男	一期的、小開腹、double stapling techniqueによる大腸全摘、J型回腸囊肛門吻合術	第64回日本大腸肛門病学会総会	福岡	2009年11月6-7日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明、黒木博介、鬼頭文彦、福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘、回腸囊肛門吻合術後の長期予後	第64回日本大腸肛門病学会総会	福岡	2009年11月6-7日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明、黒木博介、鬼頭文彦、福島恒男	インブリキシマブ使用後の手術例の検討	第64回日本大腸肛門病学会総会	福岡	2009年11月6-7日
黒木博介、小金井一隆、杉田 昭、鬼頭文彦	直腸切断術後に会陰創皮下に扁平上皮癌を合併したクローン病の1例	第64回日本大腸肛門病学会総会	福岡	2009年11月6-7日
杉田 昭	Crohn病に合併した直腸肛門管がの診断と予後の検討	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月14-16日
杉田 昭	Crohn病に対する外科治療の進歩	Crohn病に対する外科治療の進歩	札幌	2009年10月9-11日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	大腸全摘、回腸囊肛門(管)吻合術施行後、回腸囊肛門吻合術再施行例の術式と術後経過	第64回日本消化器外科学会総会	大阪	2009年7月16-18日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	クローン病の難治性直腸肛門部病変に対する人工肛門造設術と直腸切断術の適応	第64回日本消化器外科学会総会	大阪	2009年7月16-18日
木村英明、杉田 昭、小金井一隆、福島恒男	クローン病十二指腸狭窄に対する胃空腸吻合術の治療成績	第64回日本消化器外科学会総会	大阪	2009年7月16-18日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明	Crohn病小腸病変に対する小腸造影法の意義と治療への応用	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7-9日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘、回腸囊肛門吻合術施行例の長期経過	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7-9日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、鬼頭文彦、福島恒男	Crohn病手術例の術後長期経過からみた外科治療の問題点と対策	第109回日本外科学会定期学術総会	福岡	2009年4月2-4日
小金井一隆、木村英明、杉田 昭、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	クローン病に造設したストーマの合併症と予後	第109回日本外科学会定期学術総会	福岡	2009年4月2-4日
大田洋平、木村英明、小金井一隆、杉田 昭、福島恒男、嶋田 紘	炎症性腸疾患手術におけるSSIの検討	第109回日本外科学会定期学術総会	福岡	2009年4月2-4日
辰巳健志、小金井一隆、木村英明、杉田 昭、鬼頭文彦、福島恒男	クローン病術後妊娠、出産の現状と問題点	第109回日本外科学会定期学術総会	福岡	2009年4月2-4日
小金井一隆、杉田 昭、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	難治性潰瘍性大腸炎に対する手術適応の拡大	第43回神奈川大腸疾病研究会	横浜	2009年2月26日
松田論、小金井一隆、門倉俊明、二木 了、渡部 顕、河俣真由美、藪野太一、三邊大介、望月康久、石山 曉、高橋正純、杉田 昭、鬼頭文彦	大腸全摘後に合併した直腸腫瘍に対し回腸囊直腸切除、回腸囊肛門吻合術を行った潰瘍性大腸炎の1例	第303回日本消化器病学会関東支部例会	横浜	2009年2月21日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	Cohn病の病態にもとづいた治療法の進歩	第5回日本消化管学会総会	東京	2009年2月12日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	難治性潰瘍性大腸炎に対する手術適応の拡大	第5回日本消化管学会総会	東京	2009年2月12日
岸野喜一、小金井一隆、門倉俊明、渡部 顕、杉田 昭、二木 了、河俣真由美、藪野太一、三邊大介、望月康久、高橋正純、鬼頭文彦、林 宏行	潰瘍性大腸炎とCohn病の鑑別が困難であった1例	第302回日本消化器病学会関東支部例会	東京	2008年12月6日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	クローン病の難治性直腸肛門部病変に対する人工肛門造設術と直腸切断の適応と成績	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17-18日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	Crohn病に合併した直腸肛門癌の診断と治療法の検討	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17-18日
渡部 顕、小金井一隆、門倉俊明、二木 了、杉田 昭、鬼頭文彦	直腸尿道瘻、骨盤直腸窩痔瘻を合併したクローン病の1例	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17-18日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	クローン病の直腸肛門部病変に対する直腸切断術の適応と術後経過	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月16-18日